神緑会

Shinryokukai News Letter

一般社団法人 神緑会会報誌
神戸大学医学部医学科同窓会

第12巻　第3号

発行日　2021年1月26日

「イングリッシュガーデン」　川口　恵子（昭和48年卒）

Contents

第15回ホームカミングデイ　3
第４回神緑会美術展　7
令和２年度神緑会助成事業授与式　14
神戸大学医学部白衣授与式　18
神緑会員リレー随筆②　24
医学部医学科新入生クラス代表　28
神戸大学医学部 部活紹介リレー　29
研修医日記　Vol.3　35
研究者だより　Vol.3　37
神戸大学医学部医学科の歴史継承　39
CiRA便り　42
編集後記　44

木と生きる幸福

住友林業グループ

住友林業のシニアレジデンス

スミリンケアライフは、住友林業グループの一員として
より質の高いサービスをより多くの皆様にご提供し、
「安心・安全・快適」な暮らしをサポートしています。

2019年4月撮影

DOMANI ドマーニ 神戸

（一般型特定施設入居者生活介護／入居時自立・要支援・要介護）

フリーコール 0120-78-6665 (9:00～17:00)

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型／介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態／利用権方式 ●利用料の支払い方式／一部前払い・一部月払い方式（一般居室）・選択方式（介護居室）●入居時の要件／入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険／兵庫県指定介護保険特定施設　兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分／全室個室 ●介護にかかわる職員体制／1.5:1以上。
【施設概要】●所在地／神戸市垂水区本多聞3丁目1番37号 ●交通／JR「舞子」駅よりバス15分「舞子高校前」下車、徒歩5分（約340m）市営地下鉄「学園都市」駅からバス8分「舞子高校前」下車、徒歩2分（約130m）●構造規模／鉄骨（一部）鉄筋コンクリート造 地上7階・地下1階の1棟、鉄筋コンクリート造 地上10階の1棟 ●居室数／一般居室195戸、介護居室58室 ●土地建物の権利形態／土地・建物とも自社所有

2002年12月撮影

ELEGANO エレガーノ 摩耶

（一般型特定施設入居者生活介護／入居時自立・要支援・要介護）

フリーコール 0120-01-4165 (9:00～17:00)

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型／介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態／利用権方式 ●利用料の支払い方式／一部前払い・一部月払い方式（一般居室）・選択方式（介護居室）●入居時の要件／入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険／兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分／全室個室 ●介護にかかわる職員体制／1.5:1以上。
【施設概要】●所在地／神戸市灘区摩耶海岸通1丁目3番10号 ●交通／JR「灘」駅より徒歩13分（約1km）、阪神「岩屋」駅より徒歩10分（約800m）●構造・規模／鉄骨・鉄筋コンクリート造　地上14階建（ケアセンター東館5階）●居室数／一般居室134戸・介護居室96室 ●土地建物の権利形態／土地・建物とも自社所有

2006年4月撮影

ELEGANO エレガーノ 甲南

（一般型特定施設入居者生活介護／入居時自立・要支援・要介護）

フリーコール 0120-65-8208 (9:00～17:00)

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型／介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態／利用権方式 ●利用料の支払い方式／一部前払い・一部月払い方式（一般居室）・選択方式（介護居室）●入居時の要件／入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険／兵庫県指定介護保険特定施設　兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分／全室個室 ●介護にかかわる職員体制／1.5:1以上。
【施設概要】●所在地／神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号 ●交通／阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分（約1,180m）、JR神戸線「摂津本山」駅より徒歩12分（約930m）、阪神本線「青木」駅より徒歩9分（約700m）●構造・規模／鉄筋コンクリート造 ●居室数／一般居室105戸・介護居室101室 ●土地建物の権利形態／土地は普通借地、建物は自社所有

2020年2月撮影

ELEGANO エレガーノ 西宮

（入居時自立・要支援・要介護）

フリーコール 0800-100-2438（にしのみや） (9:00～17:00)

【西宮市サービス付き高齢者向け住宅運営指導指針による表示】●類型/サービス付き高齢者向け住宅 ●居住の権利形態／利用権方式 ●利用料の支払い方式／一部前払い・一部月払い方式（一般居室）・選択方式（介護居室）●入居時の要件/入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険／在宅サービス利用可
【施設概要】●所在地/西宮市津門大塚町11番58号 ●交通/阪急今津線「阪神国道」駅より徒歩4分（約320m）、JR神戸線「西宮」駅から徒歩11分（約880m）、阪急神戸線「西宮北口」駅より徒歩16分（約1,280m）●構造概要／鉄筋コンクリート造地上14階建2棟、5階建1棟 ●居室数／一般居室219戸、介護居室90戸 ●土地建物の権利形態／土地は普通借地、建物は自社所有

※1.不動産・住宅サイトSUUMO（スーモ）「関西住みたい街ランキング2020」より

■お問い合せ・資料請求等は、各フリーコールをご利用ください。

[経営・運営主体]（公社）全国有料老人ホーム協会会員・（一社）全国介護付きホーム協会会員

住友林業（株）66.7%出資

スミリンケアライフ株式会社

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号（国際健康開発センター3階）
TEL.(078)261-6665　FAX.(078)261-6662
[ホームページ]
https://www.s-carelife.co.jp

第15回ホームカミングデイ

神戸大学長　**武田　廣**

今年で15年目となる予定の「神戸大学ホームカミングデイ」、そして17年目となる予定の「留学生ホームカミングデイ」ですが、大変残念ながら、新型コロナウイルス感染症について、いまだ終息が見通せない状況に鑑み、やむをえず中止とさせていただくことになりました。

ホームカミングデイの開催を心待ちにされていた、卒業生・修了生・留学経験者の皆様に対し、深くお詫び申し上げます。今年は母校へお運びいただくことができませんので、現在の大学の姿をご紹介し、これに皆様方が過ごされた思い出を重ね合わせていただければ、との思いから、「オンライン・ホームカミングデイ」といたしまして、ウェブ上で動画などを皆様にご覧いただくことを企画しました。神戸大学の構成員を代表しまして、一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ先が見通せません。日頃から本学を応援、ご支援いただいています皆様並びにご家族、ご友人の方々の中には大きな影響を受けられている方もいらっしゃいます。心からお見舞いを申し上げます。

本学でも、残念ながら卒業式、入学式も中止せざるを得ず、授業は遠隔授業という今までにないキャンパスライフになり学生諸君には申し訳なく思っています。現在ではなんとか環境が改善してきましたので、対面授業や課外活動を徐々に再開して行くことにしています。

この間、コロナ禍で最も大きな影響を受けている学生並びに厳しい環境下での医療業務に尽力している附属病院を支援するため、去る５月１日、私は緊急メッセージの発信とともに、神戸大学基金の中に「神戸大学基金新型コロナウイルス感染症対策緊急募金」を立ち上げ、学内教職員はもとより各同窓会、学友会支部、神戸大学東京オフィス等を通じ広く卒業生の皆様にご協力をお願いしてまいりました。

皆様のおかげで、８月末までに寄せられたご厚意は約990件で、約6,200万円となっています。そして、海外留学生ＯＢＯＧの有志の方々から、早々に医療用マスクやガウン等をお送りいただいたのも大変勇気づけられました。これまで寄附の趣旨にご賛同いただいた多くの皆様に大学を代表して心からお礼申し上げます。賜りましたご寄附は、経済的に困窮する学生と附属病院の支援に使わせていただいておりますが、ただ、この先も学生並びに附属病院に対し支援が必要な状況が続きますので、募金の締め切り日について、当初予定の９月末を３ヶ月延長し、本年12月末までといたします。引き続き、皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

さて、ご承知のとおり、本学は、理系分野・文系分野、双方の強みを活かし、人間性豊かな指導的人材を育成することを使命としてまいりました。そして、この使命のさらなる発展に向けて「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ」を標榜する「神戸大学ビジョン」を策定し、挑戦を続けています。

２年後の令和４年には創立120周年を迎えますが、皆さま、是非母校の動向に注目をしていただきたく存じます。

ここで、本学のトピックスを３点、簡単にご紹介したいと思います。

１点目は「V.スクール」の設置についてです。

今年４月『思索と創造のワンダーランド』神戸大学V.スクールが始動しました。神戸大学の理念『学理と実際の調和』を実践する場として、価値を問い、価値を追求し、多様な人たちが多様なままで幸福になる社会の実現を目指します。現在66名の学生が10学部、９研究科から集まり、WEB会議等を利用しながら、各界の講師や本学の教員を交え、活発な議論を展開しています。今後、新たな価値を提唱し、世界に向けた社会貢献を実現していくことを期待しています。

２点目として、来年４月に新学部「海洋政策科学部」を設置します。本学は新練習船の建造、海を研究する「海共生研究アライアンス」の設立とともに、「海の神戸大学」をめざしていますが、新学部では、海を正し

く理解し、one globeの観点に基づいたルールとテクノロジーに基づいて海を利用することを学びます。目標は、海底火山・海洋底探査や資源開発など、海に関するサイエンスとテクノロジーを追究する人材、国際的な海洋政策を提言できる人材、ICT活用などの能力を備えた新しい時代の船員、こういった人材を文理融合で育てることです。

３点目として、本学では、今、様々な研究成果が花咲こうとしています。科学技術イノベーション研究科の近藤教授は、「日本の研究ドットコム」というサイトで、代表者として獲得した研究費が日本一だとして、先日紹介されました。他にも知っていった頂きたい研究は本当にたくさんあるのですが、今日は、その中から二つだけお伝えします。一つは、「カエルに食べられてもお尻の穴から生きて脱出する昆虫の発見」です。農学研究科の杉浦准教授は、水田などに生息する「マメガムシ」がカエルに捕食されても消化管を生きて通過し脱出することを発見し、世界中のメディアに取り上げられ注目されています。もう一つは「涙による乳がん検診」についてです。工学研究科の竹内教授と医学研究科の谷野（たにの）特命教授が涙を使った乳がんの検出に成功しました。一滴の涙で検査ができれば受診者の負担は軽減でき、超高感度で高速の測定を実現できれば早期発見率やがん検診の受診率の向上が期待されます。

一方、学生諸君も活躍しております。

昨年、アメリカンフットボール部「RAVENS（レイバンズ)」は、関西学生リーグ３位となり、チーム史上初となる全日本大学選手権への出場権を獲得しました。

また、理学部３年生で陸上競技部の仲野由佳梨さんが、年末に行われた2019年全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）に、全日本大学選抜チームの一員として出場しました。神戸大学からの本大会出場は初めてのことです。仲野さんは４区を走りぬき、同選抜チームは３位に入賞しました。

さらに、海外のチームも参加する第17回学生フォーミュラ日本大会2019で、本学の学生フォーミュラチームは総合５位の成績を収めるとともに、男子ラクロス部は、関西学生トップリーグトーナメントで全勝優勝いたしました。

一方、昨年は、「神戸グローバルチャレンジプログラム」により、138名の学生が国際的なフィールドで学修活動を行いました。代表して、経済学部３年生の宇田　創さんが、「EUフィールドワークコース」での活動を別の動画でスピーチをしてくれていますので、是非ご覧いただければと思います。

第15回ホームカミングデイ記念式典では、本学卒業生で元NHKエグゼクティブアナウンサーの住田功一様をお招きし、記念講演をしていただくことを予定しておりました。

本来ならば本学の出光佐三記念六甲台講堂におきまして皆様の前でお話いただく予定でございましたが、それは来年に取っておきたいと思いますので、今年は映像でご挨拶をいただきます。

本当にありがとうございます。本学の活動については、もっとお話ししたいところですが、詳しいことは、間もなく出来上がる「統合報告書」をご覧ください。

昨年、本学の中長期的な価値創造のシナリオを記載した「統合報告書」をはじめて作成しました。本学が広く社会のステークホルダーに対し発信をし、貢献していくという意思を表明した新しい試みです。２年目の今年は、本学が取り組む価値創造について詳しく紹介しています。別の動画で制作に取り組んだ若手職員が説明しておりますので、こちらもご覧いただければと存じます。

今回は他にも様々なコンテンツをご用意しておりますので、お楽しみくださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、これからも最大限の努力をして参りますので、今後ともご支援のほど、 何卒よろしくお願い申し上げまして、私からの挨拶とお礼の言葉とさせていただきます。

神戸大学　医学部長・医学研究科長　**藤澤　正人**（昭和59年卒）

医学部長・医学研究科長の藤澤です。

皆様におかれましてはますますご清祥のことと拝察申し上げます。日頃より神戸大学医学部の教育研究活動に対してご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

未だ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症ですが、卒業生の皆様におかれましてはそれぞれのお立場で、その対応に大変ご尽力ご苦労をされていることと拝察いたします。

今年度のホームカミングデイにつきましては、残念ながら開催に至らず、このような形でのご挨拶となりますことを、心よりお詫び申し上げます。

さて、神戸大学医学部医学科、医学研究科及び附属病院では新型コロナウイルス感染が広がる中、その使命を果たすべく感染防止に配慮しながら、これまで教育研究活動及び診療活動に全力で取り組んで参りました。

医学部医学科では、2020年度４月当初から、オンラインによる遠隔授業を行い、緊急事態宣言により様々な活動が制限されている間も、感染対策には万全を期し、医学教育を進めて参りました。７月初旬からは、医学部カリキュラムの中でも重要な位置を占める臨床実習を附属病院の協力を得て実施し、下旬からは医学教育に必修の解剖学実習も行っています。その他の演習、実験、実習におきましても、オンラインと対面型を組み合わせる等、教職員が協働して学生教育にあたり、この困難に対応してきています。

研究につきましては、すでに進んでいる先端融合研究環研究プロジェクト「革新的予防・診断・治療法開発に向けたシグナル伝達医学研究」とともに令和２年１月に神戸未来医療構想（内閣府「地方大学地域産業創生事業」）を神戸市、兵庫県、本学他部局連携のもとに始動し、基礎科学研究から社会実装まで見据えた先端医療、医薬品、医療機器の研究、開発に取り組んでおります。

附属病院におきましては、院内の感染拡大防止対策を講じながら、新型コロナウイルス感染症に対する医療と高度先端医療の両方を行っていくという大変困難な状況を乗り越えながら病院職員が一丸となって地域医療に貢献しています。

最後になりましたが皆様ご自愛の上、ますますのご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和２年11月吉日

一般社団法人　神緑会　会長　**木戸　良明**（昭和61年卒）

一般社団法人　神緑会会長の木戸良明でございます。この度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から第15回神戸大学ホームカミングデイの開催が中止となりました。それを受けまして、学部企画である医学部医学科のホームカミングデイも中止の決定をいたしました。毎年、各界で活躍しておられる卒業生の講演や神緑会員による美術展、学部学生にもお手伝いいただき、会の最後には盛大に懇親会をしておりました。楽しみにしておられた会員の先生方も多くおられますので、本当に残念です。

新型コロナ感染症は、いつ終息するのかは分かりませんが、withコロナの新しい生活様式にも慣れつつあります。しかし、臨床現場の先生方はこれから寒くなる季節を迎えて、緊張が解けない日々が続いておられることと思います。学生さんも新たに神緑会員となられた新入生も含め、少しづつ学生生活も再開されつつありますが、まだまだ制限の多い日々が続いております。

そんな中、コロナ禍で最も大きな影響を受けている学生並びに厳しい環境下での医療業務に尽力している附属病院を支援するため「神戸大学基金新型コロナウィルス感染症対策緊急募金」が立ち上がりました。神緑会員の先生方や学生会員のご父兄様から多くのご寄付をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

神緑会が、先生方や学生さんに直接何かできることは多くはありませんが、全世代の神緑会員を繋ぐことがその役割の一つであると考えております。

今年は集会を開催することはできませんが、年にニュースレターを３回、学術誌を１回発刊しております。さらにより充実した紙面づくりを考えております。

また、10月より、神緑会のホームページをリニューアルいたしました。先生方がより会員ページにアクセスしやすいようにしたつもりです。ぜひ、一度覗いてみてください。

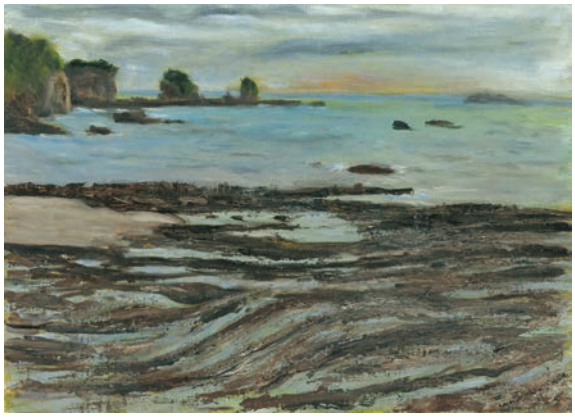
令和３年度のホームカミングデイでは、皆様と対面でお会いできることを楽しみにしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第４回神緑会美術展

藤谷　哲造（昭和37年卒）

室津の牡蠣船

兵庫県たつの市にある室津は、古くからの港町で、なんとも言えない情緒があります。今では牡蠣の養殖が盛んで冬季は活気に満ち溢れています。



田尻クズレ鼻

和歌山白浜海岸の北側に洗濯板のような隆起が多数並んでいる、一般に鼻とは岬のことを指すが、ここはとても岬と思えない、岬が崩れたのだろうか。鼻と呼ばれている。

神緑会美術部は古くからあった様ですが、記録がありません。私が学部３年の時、神戸市内大学の交流美術展があり、神戸医大が開催当番校となったので、その手配のため中谷健二先輩（1961年卒）から依頼され、美術部を引き継いだのです。学生時代はそのために描いた静物画１点と卒業記念誌のために描いた病院正面の２点だけでした。後輩に美術部を引き継いでいただきたかったが、引受け手はなく、休部状態となってしまいました。

しかし、偶然大先輩の存在を知る機会がありました。旧県医師会館の応接間に湊川神社と思われる20号位の油彩が掛けてあり、その作者は1951年卒の玉垣龍先生の作品でした。

前田前会長のご下命により、神緑会展を開催するにあたり今では一番年上の先輩を思い出し、出品をお願いし、２回にわたり出展していただきました。

いま神緑会展に参加して戴いている先生方は、私個人が得ることができた情報で絵画を趣味とされていることが判明した先生だけにご案内しております。

もっと大勢の先生方が絵画の趣味をお持ちであると思いますので、ぜひお名乗り頂き、神緑会展に出品いただけることを期待いたしております。

昭和新山

昭和18年の北海道地震で地面が隆起し始め２年間で今の大きさになったようです。白い湯煙が立ち上り今でも迫力満点の風景です。

中山千枚田

小豆島池田町中山地区に、標高が200mを超える湯船山の山腹から波状に並んでいる千枚近くの棚田があり、高い道路から一望にできる珍しい風景です。

美々津

宮崎県日向灘に面した港町。昔は重要な商業港だったのだろう。面影は十分に残されているが、今は閑静な町、人通りは少ない。

吉田　澄子（きよ）（昭和38年卒）

100F ※1

2021年（第80回創元展）**どうだった？私達の街**　仏・リヨン

2019年（第78回創元展）
それからどうしたの？
イタリア・ナポリ

2018年（第77回創元展）
きれいに描いてね　パリ・モンマルトル

2017年（第76回創元展）
ボートに乗ろうよ
ギリシャ・ミコノス島

2015年（第74回創元展）
どれが私に似合うかな？　イタリア・ボローニャ

※1 … キャンバスサイズ（Figure）　人物型　100F（1620×1300mm）

2014年（第73回創元展）
野菜を売る女達　ベトナム・ホーチンミン

10F ※2

1976年　**舅のくれたザクロ**

8F ※3

1975年　**読書の秋**

私は34歳で大学病院を辞し小児科医院を開業しました。ちょうど50年前のことです。仕事と家庭の両立がし易いと考えたからです。37歳の頃、長男の小学校のPTAに油絵の会があり入会しました。指導者は後に安井賞候補にもなられた岩見健二先生で美術の先生でした。現在は主体美術の幹部としてかつやくされています。生まれて初めて油絵具をカンバスにぶつける私に、ここがとてもいいと褒めるばかりの先生で私の気分をよくしてくださったのが今に描きつづけている大きな要因と思います。その後岩見先生は転勤で私は無指導者となり、仕事の合間にレントゲン室で花や実や身の回りの物を描いていました。嬉しがり屋の私はその作品たちを待合室・診察室に飾りました。患者さんの中に私の今属している創元会の幹部の方で戸谷賀一先生と懇意な方があり紹介を受けました。その後、戸谷先生の指導を受けることになり、年に二度描き溜めた絵を持って東京まで通っていました。創元会は各県に支部を持ち一般社団法人 創元会といい、年に一度本展を東京六本木にある国立新美術館で、兵庫支部展を兵庫県立原田の森美術館で、また同じく原田の森美術館で創元会兵庫作家展もあります。創元会の会員であることで発表の機会に追われながら45年も過ぎました。

最近は、究極のあこがれであった人物を群像で描くことに集中しようとしています。人物画は作品を見る人が、その絵の中にそれぞれの物語を創造できるから奥深く楽しいものだと思っています。出来ればいい作品を追求したいものです。

私の作品たちは、神戸大学病院、兵庫県立こども病院、甲南医療センター、兵庫県医師会館、東灘区医師会館や、保育所、教会、老人保健施設などにおじゃましています。

小品２点はごく初期のもので、100号Ｆサイズの作品たちは毎年春、国立新美術館で開かれる創元展への出品作の１部です。

一般社団法人 創元会　会員　吉田　澄子

※２ … 10F（530×455mm）　※３ … ８F（455×380mm）

川口　恵子（昭和48年卒）

今回ニュースレターの表紙をご担当いただきました。

フラワーハット

10代のころからもし何にでもなれるとしたら漫画家かイラストレーターになりたいと思っていました。でも一度も絵を習ったこともなく、真面目に勉強して医学生になってしまいました。患者さんの中にプロの漫画家がおられて個人レッスンをお願いしました。レッスンを始めるとき先生は肉筆よりCGを勧められました。言われるままにCGを始めましたが、その理由はすぐに分かりました。CGならば失敗してもCtrl Zで簡単にやり直せるしコピペや左右反転、拡大縮小を利用すれば花や星など幾つでもあっと言う間にできてしまいます。それだけ肉筆の方が価値があるということですが。この度木戸良明会長から「ニュースレターの表紙にいかがですか」とメールを頂き嬉しくて興奮しました。まだ現役で診療をしているので時間がないのが悩みですが、これからもレッスンに励みたいと思っています。

川田　哲己（昭和54年卒）

黄山の松

宮地　千尋（昭和54年卒）

2020.6　波止場（Ⅱ）

2015.5　波止場（Ⅰ）

私は、神戸港が好きでいろいろな季節に異なった構図で何度も描いています。船や桟橋を映す水面の美しさ、波の動きにとても魅了されます。その中から波止場Ⅰ、波止場Ⅱを選びました。いずれも４月～６月の神戸港です。波止場Ⅰは、穏やかな朝の光の中で船と輝く海を描きました。波止場Ⅱは、初夏の潮風の匂い、桟橋や停泊中の船とそれを映した水面の美しさに感動しました。私は、絵を描いていると仕事や悩みを忘れて集中できます。逆に制作過程で行き詰まると仕事やその他のことで気分を変えます。

新型コロナウイルス感染症との戦いはまだまだ続きます。神緑会会員の皆様も３密を避けた気分転換によりストレスをためないようにしてこの難関を乗り切ってください。

令和２年度神緑会助成事業授与式

募集対象１

卒　年	氏　名	所属機関名	事　業　名	金　額
平成22年卒	羽間　大祐	神戸大学大学院医学研究科内科学講座　呼吸器内科学分野	慢性閉塞性肺疾患（COPD）を原因とする肺高血圧症の進展におけるエンドセリンの果たす役割の解明	50万円
平成21年卒	冨岡雄一郎	神戸大学大学院医学研究科外科学講座　小児外科学分野	シンバイオティクス投与による気道内分泌物への影響の探索的非対照臨床試験	50万円
平成10年卒	淺原俊一郎	神戸大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科	２型糖尿病におけるエクソソームの役割に関する解明	50万円

羽間　大祐（平成22年卒）

この度は貴会より助成金を頂き、誠にありがとうございます。本稿では、本研究の内容についてご紹介させて頂きます。

GOLD（Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease）によると慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者は世界で３億８千万人にも及び、世界の死因の第３位にあたる年間３百万人がCOPDによって死亡する報告されております。肺高血圧症はCOPDの主要な合併症の一つであり、肺血管床の減少、低酸素性肺血管収縮、低酸素や喫煙による血管内皮機能障害および肺血管リモデリングが原因として考えられています。COPDにおける肺高血圧症、右心不全は予後不良であることが知られておりますが、現在のところ有効な薬物療法がないのが実状です。

そこで本研究では、①エラスターゼ誘発性COPDマウスモデルを用いて既存の吸入薬の肺高血圧の進展への作用点と作用機序を明らかにすること、②COPD肺高血圧進展への血管収縮物質であるエンドセリンの役割をin vitroおよびin vivoの実験で明らかにすること、③ヒト由来の呼気凝集液中のエクソソームやエンドセリンの定量法を確立すること、④COPD患者由来の呼気凝集液中のエンドセリンを定量することで、その治療効果予測因子としての有用性や、患者選択指標としての有用性を明らかにすることを目的とします。

この度頂いた助成金を有効に活用し、本研究によって現在有効な薬物治療がない肺疾患を原因とする肺高血圧症への治療法を確立し、有病率の高いCOPDの生命予後改善に寄与できるよう努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

冨岡　雄一郎（平成21年卒）

このたびは、令和２年度一般社団法人神緑会助成金を授与いただき、誠にありがとうございます。私は平成21年に神戸大学を卒業後、本学外科学講座小児外科学分野へ入局しました。関連病院で臨床経験を積んだ後に、大学院に入学し学位を取得しました。大学院修了後は大学病院勤務を継続して、日々患者様の治療や臨床研究や医学生への教育に邁進しております。小児外科学分野では近年多くの大学院生が入学し、臨床や研究へのアクティビティはますます高まりを見せております。このたび、神緑会の先生方に私どもの研究をご理解いただき、ご協力賜りましたご厚意に深く感謝しております。

今回いただきました助成金は、「シンバイオティクス投与による気道内分泌物への影響の探索的非対照臨床試験」の研究活動資金に充てさせていただきます。本研究は、気道管理を必要とする重症心身障害者・児における肺炎の予防や治療を目的としてスタートした、特定臨床研究です。本研究により、下気道の細菌叢やシンバイオティクスの下気道への影響のメカニズムといった新たな知見を得ること、またこの研究成果に基づいて重症心身障害児者・児の肺炎の治療や予防に役立てることが可能になることを期待して努力する所存です。2019年より新たに計画された臨床研究であり、このように助成をいただくことができて干天の慈雨の想いです。研究成果の詳細につきましては、あらためてご報告申し上げたいと思います。

神緑会の諸先生方には今後とも、どうか末永いお力添えを頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

淺原　俊一郎（平成10年卒）

この度は、令和２年度神緑会研究助成に採択していただき、誠にありがとうございます。

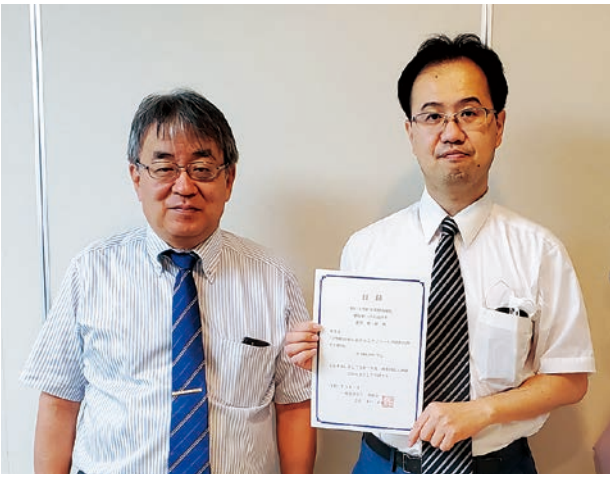
木戸良明会長はじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

私はこれまで、２型糖尿病における膵臓のβ細胞不全発症機序解明を目指して研究をしてまいりました。日本人はインスリン分泌能が弱いことから、膵β細胞不全を防ぐことは非常に重要です。しかしながら、膵β細胞のみを対象とした研究では、全身の代謝性疾患である２型糖尿病の全容はわからないと考えました。そこで本研究では、臓器連関を念頭に置いたエクソソーム研究をテーマとしております。エクソソームは全身の細胞から分泌される小胞であり、血液を介して他組織に核酸などを運搬する役割があることが知られています。２型糖尿病におけるエクソソームの役割はまだわかっておりませんが、今後、様々な角度から研究を展開させていきたいと考えております。

近年は、基礎研究者にとって研究費の獲得が難しくなってきたと言われております。同時に基礎研究にかかる出費は、網羅的解析などの大型研究の増加に伴い、以前と比べて増加しております。研究費のやりくりに苦労する中、本研究助成を頂けたことは大変有難いことであり、重ねて御礼申し上げます。

報いることができるよう、引き続き研究に精進してまいります。

誠に、ありがとうございました。



募集対象３

卒　年	氏　名	所属機関名	事　業　名	金　額
昭和56年	的崎　　尚	神戸大学大学院医学研究科生化学・分子生物学講座　シグナル統合学分野	第19回生体機能研究会（令和２年９月18日、19日開催） 実施場所：兵庫県立 淡路夢舞台国際会議場（兵庫県淡路市）	25万円
特別会員	鈴木　　聡	神戸大学大学院医学研究科分子細胞生物学分野	第14回プロテインホスファターゼ国際カンファレンス 実施場所：神戸大学医学部　シスメックスホール　神緑会館	25万円
特別会員	伊藤　智雄	神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理診断学分野	第９回神戸免疫組織診断セミナー（いむーのセミナー）	10万円

的崎　尚（昭和56年卒）

この度は、「第19回生体機能研究会」の開催にあたり助成金を授与いただき誠に有難うございました。

本研究会は、９月18日（金）と19日（土）の２日間、県立淡路夢舞台国際会議場にて開催いたしました。同地での開催は2016年に続いて２度目となりました。天候にも恵まれ、会場参加者20名（うち招聘講師１名）、リモート参加者13名の合計33名の参加をいただきました。

本研究会は、平成14年より、全国の医学系、生命科学系の研究者が一堂に会し多様な分野の最新の研究成果を発表し討論する異分野融合的な会議です。今回の開催は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定をしておりました７月の日程を延期し感染防止対策を踏まえた上で９月の開催となりました。

今回は当地神戸での開催ということで、本医学研究科の森康子先生に特別講演として、先生のライフワークでもあるヘルペスウイルスに関する研究の話に加えて、最新のコロナウイルスに関するご研究についてもお話いただき、非常に好評でありました。

また、初の試みとして会場とWebでのハイブリッド形式で行いましたが、通信のトラブルも全くなく、研究発表を通じて参加者が活発な研究討議を行い、例年通りの開催がほぼ出来ました。これもひとえに貴会の助成事業のお陰と心より深く感謝しております。

今回の成功を機に、研究会一同益々研究活動に専念していく所存ですので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

令和２年６月に開催を予定しておりました定時社員総会は延期となりましたので「令和２年度一般社団法人神緑会助成金授与式」について理事会で検討した結果、通常開催の中止を決定いたしました。

授与式は、感染拡大防止に配慮した上で、規模を縮小し、９月23日から24日にかけて会長より目録の授与を神緑会館の研修室にて個別に行いました。

鈴木　聡（神緑会　特別会員）

この度は、第14回国際ホスファターゼシンポジウム開催にあたり、助成金を授与いただきまして、誠にありがとうございました。

本シンポジウムは、12月9-10日の2日間、（11日はWebポスター発表のみ）、シスメックスホール（講演会場）と神緑会館（ポスター会場）で開催いたしました。

本国際シンポジウムは2年ごとに日本で開催されているもので、第14回目は神戸での開催でした。

ホスファターゼ研究で優れた業績をもつ著名な海外演者（アメリカ、カナダ、フィンランド、フランス、ベルギー、オーストラリア、シンガポール、台湾等）14名、国内演者19人、特別講演者2人の他に、22人の若手研究者からの発表もあり、聴衆は合計約150名程度で、活発な研究議論がなされました。

特に今年はコロナ禍のために、全ての海外演者や一部の国内演者はWebで参加し、その他の演者はシスメックスホールで参加という、ハイブリッド形式で行う試みとなりましたが、無事開催できたのもひとえに神緑会の助成事業のおかげと心から感謝しております。

神緑会からの助成を得た本シンポジウムの経験は、今後優れた若手研究者の輩出や、海外との優れた共同研究の輩出に繋がるものと確信しております。

重ね重ね、この度は、国際集会への助成を頂戴致しまして、どうもありがとうございました。

伊藤　智雄（神緑会　特別会員）

このたびは神緑会より助成金をいただき、「第9回神戸免疫組織診断セミナー（愛称「いむーのセミナー」）を無事開催できることになったことを心より感謝申し上げます。

本セミナーは病理診断に関わる免疫染色に特化した、ユニークなセミナーです。特に、日々染色に従事しながらも、その意義について学ぶことに少ない臨床検査技師から高い人気を誇っています。近年は、治療の選択にも免疫組織学の重要性が増してきており、今後ともより注目されてゆくことが期待されます。受講者は、より正確な免疫染色評価を行うことが可能となり、より正確な診断・治療の選択へとつなげることが可能となります。

9回目を数える本セミナーですが、もとよりなるべく広い範囲の方にセミナーを届けるという観点からなるべく抑えた予算で行っており、神緑会の助成は欠かせぬものです。特に今回は、「コロナ禍」という前代未聞の重大事態の中での開催となり、主催者にとっても厳しいものになりました。春の開催を秋に順延し、万全を期したつもりが、新型コロナウイルス感染症の勢いは収まらず、まさに第3波の中での開催となっております。再度の延期は、1回の中止と同じであり、日々updateされる情報を伝えるセミナーとしては享受しがたいものでした。幸いにもオンライン開催の見込みが立ちましたが、追加の費用も発生します。不安のなかでの開催のなかで神緑会のご支援をいただくことができたことは、非常に大きなことだったと思っております。

今後とも、この会を継続して開催してゆきたいと思います。病理の世界では「神戸」という名前が高まっており、様々なセミナーが開催されています。2022年には、病理学横崎宏教授の会長のもとで春の日本病理学会総会も開催予定です。本セミナーも微力ながら神戸の地を病理の中心とするための役割を今後とも果たしてゆきたいと思います。今回のご支援に心より感謝申し上げます。

神戸大学医学部白衣授与式

Student Doctor（医学部医学科４回生）　田中　黎

例年、ひとりひとり壇上で白衣を授与されるところが、COVID-19感染対策のため略式化して代表ひとりが担うこととなりました。僭越ながらその代表に選んでいただいたので、ここに私の思いを述べたいと思います。

神戸大学医学部キャンパスの中で最も広いシスメックスホールが、一面真っ白に染まった光景を目にして、ある違いに気づきました。実習や実験で白衣を着ることは度々ありましたが、CBT・OSCEを経た白衣をまとう106名の顔つきは、それぞれが信念をもっているようでこれまでとは全く違ったものだったのです。一同を会すこの儀式によって、患者の前に立つ者としての意識・使命感・緊張感が芽生えたのでしょうか。

代表としてひとり壇上で白衣をまとった私も同様に、この儀式では様々な思いが巡りました。

認定されたスチューデントドクターは、学生ではあるもののより医師に近い存在で、患者さんから見れば差はわかりません。実際、病院内で実習に出れば医師として見られ、「先生」と挨拶されることもあると聞きます。臨床実習で技能や知識の習得はもちろんですが、患者の人生に寄り添うような真摯な対応や仕事への態度・医療倫理の理解など表面に出る精神の成熟度を高め、より医師らしい学生を目指すべきだと強く感じました。

そして、代表として誓いの言葉を一語一語噛み締めて読み上げた際には、目指す思いが使命感へと変わり、今では実習に出る際の原動力となっています。

白衣授与式という儀式は、病院で患者さんに触れるために必要な成長の大きな一歩を与えてくれる大変有意義なものでした。このような素晴らしい式典を設けてくださった方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

Student Doctor（医学部医学科４回生）　田中　美翔

このたび私たち４回生は共用試験を乗り越え、無事 student doctor となることができ、喜びを噛み締めています。今年度はコロナウイルスの流行により、対面での授業がほとんどないという特殊な状況で試験に臨むことになりました。

試験合格に向けテスト勉強に向き合う中で改めて、自分がたくさんの人に支えられて学生生活が送れていることを実感しました。まず同級生の友人たちです。学校に通うことができず一人で机に向かっていると勉強に行き詰まることが度々ありましたが、その度に共に目標に向かって努力している友人たちに励まし支えられ、勉強を続けてくることができました。

また、同級生だけでなく医学部の上下の他学年の方々との関わりも私を励ましてくれました。わたしは医学部の部活に所属していますが、これまでの経験を踏まえ親身に相談に乗ってくださるOB、OGの先生方や先輩方、試験合格を共に喜んでくれる後輩たちと出会えたことに感謝しています。

次にやはり、私たちに教育の場を与えてくださる学校・病院関係者の方々です。コロナ禍におかれ、勉強できることは当たり前のことではないのだと気付かされました。これまで通りの授業を行うのが難しい中で、オンラインでの授業形態を整えてくださり、そして私たちに授業をするため時間を割いて講義に来てく

ださったおかげで私たちは沢山の知識を吸収することができました。

そしてこれからは病院でのBSLが始まり、実習では新たに一般の患者さんたちと関わっていくことになります。授与式でのお言葉にありましたが、本来患者さんは、まだ医師ではない学生の私たちと関わってメリットがあるわけではありませんが、今後の私たちの医療者としての成長に期待し、実習に関わってくださいます。このことの感謝を忘れず、期待を無駄にしないよう、この一年出来る限りの知識、技能を獲得していきたいです。

最後になりますが、今年度も例年通り白衣授与式を執り行っていただくことができ、医学生としての在り方を見つめ直す良い区切りとなりました。職員の皆様、先生方、そして先輩である神緑会の方々のご尽力に心から感謝いたします。医学生としての勉強は覚えることが多く大変だと感じることも多いですが、今勉強している知識がいずれ誰かの健康を守ることにつながるかもしれないことを励みに、同級生の皆とこれからも支えあいながら、医師という目標に向けて日々精進していきたいと思っています。

Student Doctor（医学部医学科４回生）　與那城　陽

「私達医学生一同は、謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、尊敬と思いやりの気持ちを持って患者さんの心に寄り添い、医療者としての意識を高めつつ、社会に貢献できる医師を目指して臨床実習に臨むことを誓います。」

これは１月４日に、シスメックスホールで私達医学科４年生が誓った宣誓文です。この言葉を誓い白衣を羽織った時、私の中でStudent Doctorとしての自覚と責任が芽生えたと同時に、今までの学生生活で学んできた医学の授業や実習の事を思い出しました。

遡ること二年前、私は同じ場所で解剖体慰霊祭に参列していました。あの頃の私は、解剖学や組織学等、基礎医学を理解することに必死で、何とか単位を落とさないようにと日々課題に励んでいました。あれから二年以上もの月日が経ち、生理学や薬理学を始めとする基礎医学から臨床医学まで、膨大な知識を習得してきました。今学期にはCBTやOSCEも終え、白衣を授与された今、いよいよ臨床で実習する日がやってきたという実感が湧き、高揚感で胸がいっぱいになると同時に、次の二年後には自分の理想とする医師に近づけるようより成長して卒業しようと心に誓いました。

私は疾患のみにとらわれず、患者さんを一人の人間として診る事のできる医師になりたいと思っています。一人一人の患者さんに合わせた対応、患者さんやそのご家族との信頼関係の築き方、多職種間のチームワーク等、臨床実習での学びを通して、少しでも理想の医師像に近づけたらと思います。

現在新型コロナウイルスの流行下で、多くの医療従事者の方々が日々奮闘されています。早く私もその一員として社会に貢献できるよう、自分が今出来ることを精一杯努力していきたいと思います。

今回の白衣授与式を通して自分が医師を目指し始めた時の初心を再確認し、臨床実習に向けてより気を引き締める事ができました。このような素晴らしい機会を設けてくださった神緑会の皆様、先生方、全ての関係者の方々に心より感謝申し上げます。有難うございました。

Student Doctor（医学部医学科４回生）　弓場　健太郎

本日１月４日ついに白衣授与式を迎えました。私ども56期生が神戸大学に入学してからもうすぐ満４年の月日が経とうとしています。言ってみればアマゾンなどに住んでいる部族でいうところの成人式的な儀式を経て私どもはStudentからStudent Doctorになったわけで、皆新たなステージへの門出に武者震いするような、はたまた純度100％の学生でいられるのも最早これまでもう逃げられないと観念するような、とにかく「ついに来たか…」という面持ちでした。先輩方も学生時代これから臨床実習が始まるという時、今日の私どものような気持ちを持たれたのではないでしょうか。昨年授与式報告をなさった先輩の言葉を借りるようですが儀式というものは人に節目を意識させ襟を正させるという点で実に大切なものであり、悪疫が蔓延している中であっても式を執り行っていただけたこと非常にありがたく嬉しく思います。

実は式の後でこの間購入したばかりのスクラブに着替えてその上から頂いた白衣をはおり鏡の前に立ってみました。「うわ…これはもう弓場君やなくて弓場先生やな」となりました。つまり見てくれの上では完全に医療従事者になった私どもをこれからBSLなどで出会う患者さんやそのご家族は当然そのように扱うだろうし、私どももその期待に応えなくてはならないということがひしひしと感じられました。宣誓文にも謳ったように、私どもはこれから先輩方が働く姿を見て聞いて感じて真似をして泣きながら必死に良い同業者を目指して精進していく所存です。もし実習やその先の研修でお会いすることがありましたらその時はどうぞよろしくお願いします。

最後になりましたが、この未曾有のコロナ禍のさなか、先輩方の皆さまにおかれましてはその御心労いかばかりかと拝察申し上げます。私どもは先輩方に何もお力添えをすることができず歯がゆいばかりです。どうかくれぐれもご自愛くださいますようお願いいたします。

Student Doctor（医学部医学科４回生）　桝田　実花

「よいお年を」と言い合った去年の暮、コロナウイルスが流行の兆しを見せ始めていたものの、まさかこのような一年がやってくるとは思ってもみませんでした。振り返ってみると、今年は、ふと気付くと下がってしまう自分の気持ちを、そのたびに鼓舞しながら過ごしてきたように思います。この一年、コロナウイルスに関する多くのニュースがありました。心が温かくなるものからやるせない気持ちになるようなものまで様々でしたが、医学生が過酷な現場に動員されている国もある中で、自分はぬくぬくと家でオンライン授業を受けていることを顧み、自身の無力さを感じていました。しかしながら、病棟実習すら経験してない状態で力不足を嘆いても何の意味もないので、また同じようなパンデミックが起きた時こそ役に立てるよう、今自分ができることに集中していました。

コロナウイルスに翻弄された2020年が終わり、白衣授与式を迎えました。これまでは机に向かって先生から教わる知識を吸収する毎日で、「正しい知識をどれだけ多く記憶したか」ということが重視されました。しかし、これからは、今までに得た知識をベースとして実際に患者さんやご家族と接し、「自分は何ができるか・どう接するのが最善か」というより踏み込んだ視点が必要になります。

本日、神戸大学のロゴマークの付いた真新しい白衣を手にし、ようやく自分も医師としてスタートラインに立つことができたと感じるとともに、自分の行動が人の命を左右することに対し、身が引き締まる思いでした。将来的に医師として働く中で、自分の無力さを感じることは多々あると思います。しかし、自分の無力さと向き合いながら日々精進し、大変なコロナ禍で実習を受けられることに感謝しながら、今日から一歩ずつ「医師」になっていこうと思いを新たにしました。

末筆ではございますが、このような機会を設けていただいた神緑会の皆様、先生方、事務の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

Student Doctor（医学部医学科４回生）　周　詩佳

今年は新型コロナウィルスにより学校生活が一変しました。昨年まで毎日のように通っていた大学も、講義や試験がオンラインへ切り替わったために、ほとんど登校することがありませんでした。通常なら教室や図書館、カフェなどで勉強していたはずのCBT共用試験も全て自宅学習で済ませ、OSCEの臨床実習も、内容を減らしたり時間をズラしたりと、学生ができるだけ集まって登校しないように大学に配慮頂きました。

その中で、学生にとって最も苦しいのは友人や学年に会えない事でしょう。４月に進級して以来、４年生が初めて集結したのは10月のCBT共用試験でした。前例のない、先の見通しが立てない日々に途方に暮れ、自分自身がこの学年に所属していると実感を持てない時もありました。

それが故に、白衣式で学年全員が集まり未来へと向かう姿にこみ上げるものがありました。感染対策により、例年通り先生方に白衣を授かることは叶いませんでしたが、代わりに学生一人一人の名が呼ばれ、順に起立し、皆で一斉に白衣を着ることになりました。それぞれが起立している間の時間、なにを思い感じていたのでしょうか。私は学士編入として、家族経由で合格通知を頂いた電車での情景思い出しました。いつか白衣を纏うことへの希望と期待に満ちた気持ち。ついにこの瞬間がきたのです。

気づけばスーツの黒色で埋め尽くされていたホールは、一瞬にして白衣の白色に染まっていました。その光景に私達全員がこれからスチューデントドクターとして、医師への一歩を踏み出したのだと強く実感しました。コロナ禍でなにもかもが前例のない、人々に会えない毎日だからこそ、白衣式という伝統のある「儀式」を開催することに大きな意味があったと思います。

白衣式は医学生の身を引き締める大変貴重な機会だと感じています。コロナ禍に関わらず万全の体勢で式を開催してくださった先生方、事務の方々、そして神緑会の先輩方に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

神緑会より106名に
白衣を寄贈しました

神戸大学医学部白衣授与式

神戸大学医学部白衣授与式

神戸大学医学部白衣授与式

神緑会員リレー随筆②

著者　三木　万由子（平成20年卒）

初めまして。2008年卒、神戸大学医学部附属病院乳腺内分泌外科所属の三木万由子と申します。

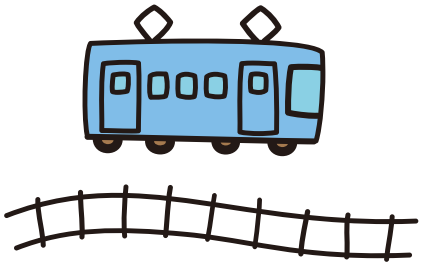
2008年に卒業後、2018年に大学に初めて大学勤務となり、懐かしい母校に戻ってきました。同級生や部活の先輩後輩に院内で出会ったり、学生実習で部活の後輩を見つけたりすると嬉しくなります（学年は１回り以上離れていますが）。やはり母校っていいですね。

大学病院周辺には学生時代を思い出す場所、お店がたくさんあり、いつも懐かしい気持ちになっています。まだ残っている所もあれば、無くなってしまっている所もありました。近くの中華そば「もっこす」は、人気店の本店で、もちろん健在でした。学生時代友人たちと足繁く通ったお店で、４回生のチュートリアルの時期などは、朝の授業が終わると週３回（！）10人くらいで食べに行きました。あまりに頻繁に行くので、店員さんもそれぞれの好みを覚えていてくれ、着席するとこちらから頼まなくても注文を確認してくれたものでした。私は、「硬め、油抜き、赤身」。チャーシューは、注文すれば脂身の少ないところだけ乗せてくれるのです。土曜日の回診帰りに久々に訪れてみたのですが、全然変わっていなくてうれしくなりました。それぞれの好みを全部覚えてくれていた店員さんはさすがにもういませんでした。海外や遠くにいる同級生に食べさせたいなぁ。

変わっていないなぁと懐かしくなることもあれば、学生さんたちとのジェネレーションギャップに戸惑うこともあります。私の学生時代はスマホなんてなかったので、わからないことは教科書で調べていたけれど、今はさっとスマホやタブレットが出てきます。国家試験の問題集：クエスチョン・バンクも、タブレットで見られるからどこでもできるし便利ですよ、と言われて、へぇ～と感心してしまいました。そりゃそうですよね、今や会議や授業もzoomだし、なんでもデジタル化されていますよね。けれど、論文や教科書は紙媒体で線を引いて読みたいアナログ派は、私だけじゃないはず…。

話は変わりますが、現在、もうすぐ３歳になる男の子の子育て中です。医局の理解があるのと、夫も細かいことは気にせず家事や育児を分担してくれるので、とても助かっています。家事も子育ても、どっちもゆる～く及第点を目指しています。「ま～、いっか」が口癖なのですが、先日息子が飲み物を派手にこぼして「ま～、いっか」と言っていました。「子は親の鏡」…なんでも真似するので、言葉遣いなどには気を付けないといけないなぁと思う日々です。平日ゆっくり相手をしてあげられない分、休みの日はできるだけ子供と遊んでいます。男の子だから毎日公園で何時間も過ごさないといけないのでは、と赤ちゃんのときから恐れていたのですが、どうもインドア派のようで、朝から晩まで家で遊んでいても平気なようです。コロナ禍で外出制限されても全く問題なく、助かりました。息子は車が大好きで、車の名前だけはやたらとよく知っています。それにつられて私もトミカにはやたら詳しくなりました。大阪で開催された「トミカ博」、行きたかったですがさすがに今年は子供が小さく、感染対策をちゃんとできないので断念しました。来年こそは…！今は王子動物園など、近場で外出して気分転換しています。いろいろ気にせず出かけられるようになる日が早く来るといいですね。

寒い時期がやってきて、更なるCOVID-19の流行が懸念されていますが、皆様どうぞお体に気を付けて、お過ごしください。とりとめもない文章になってしまいましたが、読んでくださってありがとうございました。



著者

謝　紹東（昭和61年卒）

かつてはよく海外旅行に行っていました。大学で医局にいた時や、公立日高病院にいた時にも定期的にアメリカ循環器学会（AHA）やヨーロッパの高血圧学会（ESH）に発表を兼ねて旅をしていました。でも10年前に開業してからは、大きな学会に行くこともなく（もちろん専門医の点数稼ぎに国内学会には行っていましたが）旅行することはすごく減っていました。でも数年前から生活が少し落ち着いてくると、旅に行きたいという気持ちがどんどん大きくなっていました。

2014年行ったのは地中海にあるマルタ島です。あまり日本から多くの方が行く所ではありませんが、とってもきれいな島です。その旅行では生まれて初めてのロストバゲージを経験しました。スーツケースは３日後に届きました。

2015年はクロアチアです。その旅ではドゥブロブニク、旧市街で最も大きなルジャ広場に面したスポンザ宮殿（Palace Sponza）の前で、いきなり空から鳩の糞が急降下爆撃されて頭に落ちてきました。（大変でした）これも初体験です。

そして2019年、ちょっとメジャーなところへ（？）を、という思いで目指したのはポルトガルでした。ポルトガルへはもちろん直行便ではいけません。途中オランダのアムステルダム経由です。そのアムステルダムで待ち時間が少しあったので、列車に乗って街に行ってみました。いろいろ街を見た後で帰りの列車の中で、とんでもないことが起こっていました。それは数年ぶりに起こった、外傷後てんかんの発作でした。

スキポール空港についてからも発作は続いていました。発作は基本発語障害ですが、そんな状態では入国、出国管理を通過することができません。喋れないのです。徐々に右の手足の痙攣も起こっています。結局空港の医務室へ運び込まれました。同行した妻が携帯していた通訳装置（VORMOR　T2Sとても便利な機械でした）を使って、いろいろ説明しました。そこで数回、おそらくセルシンの投与、１回目は座薬、２回目と３回目は静注をしてくれました。そしてその後（意識も半分なくなったので）救急車で病院へ搬送されました。行先はアムステルダム自由大学病院（ VRIJE UNIVERSITY HOSPITAL　Amsterdam UMC)でした。その後完全に意識もなくなってしまいました。

翌朝、意識はほぼ戻り痙攣もなくなりましたが、発語はいまだ困難でした。バイタルを取りに来たのは、若い、アジア系らしき方２人でした。医師か看護師かはわかりません。研修医かもしれません。９時になると違うスタッフがワゴンを持って食べ物を持ってきます。何が欲しいの？とわれわれに尋ねてくれて、メニューを見せてくれました（一緒についてきていた妻にも、泊まる部屋もくれましたし、食事も食べさせてくれました）

その後医師（来てくれたドクターはすべて女性です）が来られたので、早く退院したい旨（ここから出てポルトガルに行きたかった）告げると、上級医師が来られて、許可をくれました。でも飛行機に乗ってはダメと言われました。診療費は対応の事務方が来られて、今は必要な支払いはないが、のちに請求書を送るといわれました。そしてタクシーも呼んでくれました。（数か月後、忘れたころに送られてきた請求書には、400€の請求がありました）

その車で私たちは早速、ダメ出しされていたスキポール空港へ。もちろん持っていたチケットは昨日の飛行機のものなので使えません。空港の中でチケット

を買えそうなブースを探します。幸い中国語ができそうな方がいる所（今思っても不思議です）にポルトガルに行く飛行機が取れそうな予感がしたので、その人と話をし。そこでチケット購入　それはTAP AIR ポルトガル航空でした。

はじめその乗り込みのカウンターに行くと並んでいるのは自分たち２人と数名だけでしたが、乗り込む時間が近づくにつれ長蛇の列に！ 19時45分登場。数時間後夜遅くにようやくポルトガル、リスボンに到達したのです。

それからは予定よりは１日少なくなったのですが、リスボンを観光、

ヨーロッパの西の果て、ロカ岬。詩人カモンイスが詠んだ一節「ここに地終わり、海始まる」

ベレンの塔（リスボン）
司馬遼太郎さんが「テージョ川の貴婦人」と評価したことでも有名

レガレイラ宮殿（シントラ）

サンタ・ジュスタのエレベーター（リスボン）

高さ45メートルの巨大な鉄塔。高地のシアード地区と低地のバイシャ地区を結ぶ市民の足として建設された。１台に約24人が乗車できるエレベーターが２つあり、ピーク時には長蛇の列ができる

コインブラ大学の医学部

学生食堂

そして鉄道でコインブラ、ポルトまでの楽しい旅を堪能しました。（オランダとポルトガルの時差に気づかず、腕時計がオランダのままで、列車に乗り遅れてしまったけど）

そして予定していた帰路。早朝５時、ポルト空港からチェックインしようとしたところ、来るときにアムステルダムからリスボンに予定されていた飛行機に乗った記録がないとのことで、チェックインしてくれません。そんなこんなで１時間待たされてようやくチェックイン。でも余分な費用を一人250€請求されます。

文句を言いますが、まったく相手にしてくれません。アムステルダムに到着し、KLMの事務所に行き、追加の費用について再度文句を言いますが、やはり対応してくれず、また更に請求費用が一人500€に追加されてしまいました。踏んだり蹴ったりです。でも乗った飛行機は予定通りで、座席も予定通りプレミアムエコノミークラスでした。

こんなトラブルだらけの旅行（多くは自分自身の責任ですが）で、帰り着いたときはぐったりしていましたが、今思い出すのは楽しいことばかりです。現在はコロナ感染症のことで旅行すること、特に海外旅行はほぼできない状態ですが、機会があれば（後悔もせずに）また旅に出たいと思います。

医学部医学科新入生クラス代表

岡本　大治（医学部医学科１回生）

私たちは2020年、COVID-19の感染が拡大し、社会が混乱している中で神戸大学医学部医学科に入学した。厳しい受験を勝ち抜き、憧れであった神戸大学医学部医学科に入学することが出来て、私たちは自信と希望を持ってこれからの学生生活を楽しみにしていた。

しかし、私たちの自信や希望と裏腹に、COVID-19の感染拡大によって、毎年恒例であった４月１日、２日の新歓合宿は中止に、３日に予定されていた晴れ舞台、入学式も中止となった。部活の新歓もすべて中止。「ご入学おめでとうございます」の言葉を一番かけられなかった学年ではないだろうか。正直なところ、入学した実感もなく、非常に不安の大きいスタートであったが、先輩方の優しさや気配りに支えられた。オンラインで部活の新歓をしてくださり、履修登録についてはLINEで丁寧に教えてくださり、とてもありがたかった。そして７月17日には楠キャンパスのシスメックスホールでオリエンテーションが開催された。初めてのキャンパスへの登校、それまでLINEでしか話していなかった友達との初めての対面などとても充実した１日となった。そして医学科の先生方や先輩方からの挨拶や学生生活の紹介などを聴いて、改めて入学した実感とこれから６年間の学生生活への意欲が湧いた。また、このような状況でも新入生を支えてくださったすべての方々に感謝、憧れの気持ちを心に抱いた。

例年の学生生活に比べると、得られなかった経験も多いと思うが、逆に、学生のうちにこのCOVID-19の感染拡大による社会の混乱を目の当たりにしたことは、何気ない当たり前の健康な日々の大切さを知る良い機会になったのではないかと思う。入学時に抱いた自信や誇り、オリエンテーション等を通じて感じた感謝や憧れの気持ちを胸に、勉学も部活も、コミュニティ作りや人間関係も全てのことに自ら機会を創り出し、挑戦して、神戸大学医学部医学科の学生として相応しい人間に成長できるような学生生活を送りたい。

神戸大学医学部 部活紹介リレー

ソフトテニス部

主将　**長谷川竣大**（医学部医学科３回生）

私たちソフトテニス部は現在男子22人、女子10人で活動しています。練習は週に３回、垂水スポーツガーデンや海浜公園テニスコート、神戸大学深江キャンパステニスコートなどで行っています。現在は新型コロナウイルスの影響により行っていませんが、体育館を使用して有志で集まって朝練も行っていました。

ソフトテニス部は人数が医学部部活で最大級であり、非常に賑やかに活動しております。

昨年の西医体では、団体戦において男子はベスト16、女子は優勝を果たしました。

女子は西医体の直後に開催された全医体においても団体戦優勝を果たしました。

日頃よりのOB、OGの先生方のご支援の賜物であり非常に感謝いたしております。

昨年の夏以降も、今年の夏に向けて練習に励んでいたところ、昨今の新型コロナウイルスの流行により、部活動を無期限休止せざるを得ませんでした。

３月以降、部活動休止となり、今年の西医体を含む、４月以降の全ての大会が中止となりました。

６年生にとっては最後の西医体が中止となり、非常に残念でございました。

西医体後、９月より少しずつ再開への目処が立ち、様々な感染予防対策を講じながら、部員一丸となって部活動再開に向けて取り組みました。

９月より幹部が交代し、現幹部中心に練習に励んでおります。

大会に関しては直近の大会が来年５月初頭に予定されている関西医歯薬大会でございます。

しかし、この大会も今冬の感染状況により、中止の可能性もございます。

現在は、練習時間もかなり短縮され、出来る練習も限られております。

また、対外試合なども自粛しておりますのでなかなか自分たちのチームの実力を測る機会が無い状況です。

部内での試合でモチベーションを保ちながら来る来春以降に向けて力を蓄えております。

来年の西医体までは現在の三回生が幹部として部活動を率いていきます。男子は全医体出場を、女子は西医体優勝を目標として練習に励んでいます。新型コロナウイルスの影響により例年通りの練習はできない状況で、目標を達成することは簡単ではありませんが、チーム一丸となって来年の夏に向けてしっかりと練習に取り組んでいきたいと思っています。

現在の部員では約７割が初心者始めの部員で大学でテニスを始めた新入生の育成にも力を入れています。OB、OGの先生方が築かれてきた伝統ある部活を今後もしっかりと受け継いで行くために部員一同練習に励んでいます。

今後も新入生も加え、さらに人数を増したソフトテニス部をよろしくお願いいたします。

ランニング部

部長　**森川　咲希**（医学部医学科４回生）

こんにちは。ランニング部です。今回はランニング部を部活紹介に選んで頂き光栄に思います。謹んで紹介させて頂きます。

マラソン同好会から始まり、部活動としての活動になって早３年が経とうとしています。学生の間での知名度も上がってきて部員も多くなりました。活動は週に２回程度都合のつく部員が参加し5.6kmほど走ったり、競技場を借りて短距離を走ったりしています。どちらの活動も参加が自由で、アルバイトや他の部活との剣舞を行っている部員がほとんどです。今年は大会がほとんどなくなってしまいましたが、希望者をつのって様々なマラソン大会に出場しています。リレーマラソンやスイーツマラソンと言った楽しく走る大会から、神戸マラソン、大阪マラソンのような記録を目指して走る大会まで様々です。ランニング部では例年、12月に行われる加古川マラソンを部の最大の大会としていて、毎年20名近くが参加しています。マラソンは１人でも出来るスポーツです。ただ、１人だと挑戦しづらいフルマラソンも、アップや荷物の管理、応援など、沢山人数がいることでハードルは下がりますし、同じＴシャツを着て走る仲間がいることで励まされ、走りきる元気ももらえます。完走したときの達成感は一入で、それを共有できる仲間がいることも部活動として活動できることのメリットだと思います。もちろんサボりたくなる練習をちゃんとするためにも。

有名な研究者やお医者さんのなかでもマラソンを趣味にしている、という話はよく聞きます。マラソンで培える体力や、30km付近の辛い場面でも乗り切る精神力は医師になってからも使えるもの何ではないかと思います。

さて、コロナウイルス感染症の拡大も有り、自粛していた活動が段階的に再開し、ランニング部でも10月から少人数での活動を始めています。10月以前はアプリを利用して月ごとの走った距離を共有し、自粛による運動不足改善を試みていましたが、部活動が再開し、やはり皆と走るのは楽しいなと実感するばかりです。新入生も交えた活動が再開しています。もちろん上回生になってからも入部できますし、大歓迎ですが、是非この機会にも一緒に走りに来て下さいね。

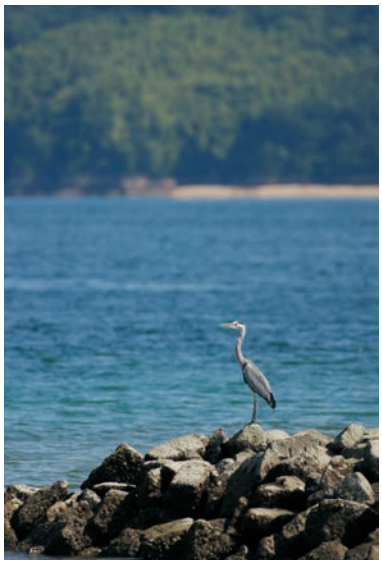
最後になりましたが、私たちが楽しく活動させて頂いてるのは、神緑会を始め、神戸大学OBの皆さまのお陰です。ありがとうございます。

写真部 作品紹介

部長 **河野 太郎**（医学部医学科５回生）

明石海峡を臨む風景
淡路島･岩屋港より。橋の壮大さをひしひしと感じます。

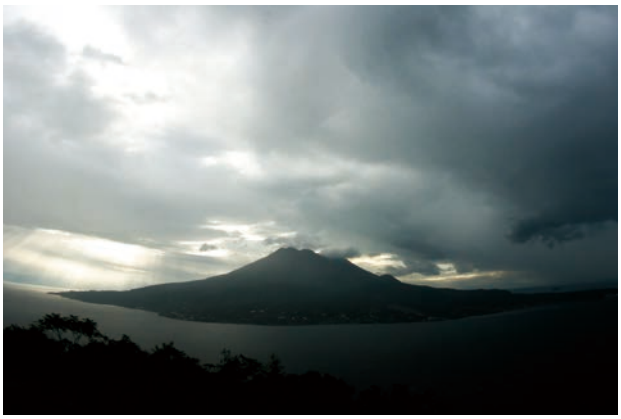
雲立ちぬ
立雲峡より。この日はベストコンディションでした。



海辺の青鷺
愛媛県の大三島にて。しまなみの美しい青が映える風景に、凛と佇む青鷺が一羽。

天道の宿る田
淡路島・伊奘諾神宮の御斉田。鳥居の方角にお天道様が見えました。

或る碧い日の加古川
秋の澄んだ空を映す加古川の風景



荒天の桜島
鹿児島の吉野公園より。土砂降りの朝、厳かな山が姿を見せてくれました。

夜凪
岡山県の渋川港にて。静かな凪の中、時折波に揺れる船に情緒を感じました。

部員　**山川惇之介**（医学部医学科５回生）

15.35.55
この日の六甲山は風が少し強かったです。良い五月晴れでした。

Metro_Kobe_Ex.No.4
メトロこうべは身近にある昭和そのものです。昭和に浸りたい方はぜひ。

掬星台下
薄暮の神戸には百万ドルの夜景とはまた違った魅力が。

Pseudo-holiday
台風一過。

Tuetate
静かな温泉街の空気を切り取りたかった作品。

須磨海岸
地面に映る空もまた美しいと思います。

部員　**藤掛　竜也**（医学部医学科３回生）

秋の浮舟

初秋の布引ハーブ園

思い出をありがとう、タンタン

海峡をくぐる、船一隻

お茶の町を駆ける、緑の電車

お知らせ

■神緑会年度会費について

本年度分会費の納付が11月時点で確認できていない先生つきましては、学術誌第36巻に令和2年度分会費払込票を同封していますので納付をお願いします。なお、既に納入済みの場合は同封していません。12月以降の納付については反映されていない場合もございますので、行き違いの場合はご容赦ください

初期研修医　**戎　直哉**（平成30年卒）**よりバトンタッチ**

研修医日記　Vol.3

研修医２年目　**岡元　淳**（平成31年卒）

戎直哉先生よりバトンを受け取りました、神戸大学初期研修医２年目の岡元淳と申します。私はたすきがけで１年目を市立加西病院、２年目を神戸大学でそれぞれ研修させていただいています。市中病院と大学病院では医療事情も研修内容も大変違っていて、まるで一年ずつ別の職業に就いたかのように感じています。日々戸惑うことばかりですが、周囲の先生方に助けていただきどうにか研修を続けられています。

私がこの研修医日記を書かせていただいている秋頃はそれぞれの専攻と研修病院が次々と決まって行く時期です。皆と前に進んでいく嬉しい気持ちに混じって各々の道が分かれていく寂しさを少し感じています。

戎先生が神戸大学内での研修生活について丁寧に書いてくださったので私の研修医日記では休日について書こうと思います。私は学生の時からアウトドアが好きで今でも休日は月に２回はアウトドアをしています。最近ではこの秋神戸で灘浜から船に乗り後輩と釣りに行きました。日付が変わる前から船の待合に並び、数十分かけて海へ出て、幅数mの細長い海上堤防に移りそこで夜を明かしました。風と寒さは感じましたが期待と緊張で時間はあっという間に過ぎました。明け方周囲の釣り人が急に盛んに動き出し、大型の魚が回遊が始まったことが分かりました。私も慣れないルアーを必死に投げ、２回大物をヒットさせることが出来ました。しかし、残念ながらどちらも途中で逃してしまい釣り上げることはかないませんでした。その後は海はさっぱり静かになってしまい、私の夜釣りは終わりました。隣を見ると後輩は４匹のハマチ、メジロ（ハマチとブリの中間　60-80cm程度です）を釣り上げており彼との実力の差をひしひしと感じました。研修医日記のために写真が必要なことは以前から決まっていたため、私が大物を釣り上げた写真を掲載して、あわよくば釣り仲間を増やしてやろうというささやかな私の野望があったのですが残念ながらそれは失敗に終わりました。また、ハマチを逃してしまった悔しさのあまり、肝心の釣りをしている写真を撮り忘れたことに今になって気づいています。

その他には同期と一緒に丹波でキャンプをしたことが記憶に残っています。写真は山の中にモンゴルのゲルのようなテントを組み立てているところと、エアソファを作っているところです。あまり上手く写せておらず分かりにくいのですが、テントの大きさは分かるでしょうか？学生から研修医になってついつい新しいキャンプ用品を増やしてしまっています。最近はどうぶつの森で仮想のキャンプサイトを作ることが流行っ

ていますが、自分たちで実際にキャンプ地を建てると秘密基地を作るような楽しさを感じられてとても楽しかったです。

神戸は海も山も身近なため、休日に少し足を伸ばすと普段の職場とは全く違う環境に身を置けて、とても良い気分転換になっています。拙い文章を読んでいただきありがとうございました。次は同期の吉原先生にバトンを渡します。

右端が筆者

広報委員会よりお知らせ

■支部会便りについて

新型コロナウイルス感染症の影響で支部会の開催が延期または中止になっているかとご推察します。新型コロナウイルス感染症についてはまだ予断を許さない状況ではありますが、次号以降も、各支部の取組や現状をぜひご寄稿ください。

支部会便り・クラス会便り　投稿規程

掲載予定　ニュースレター第13巻第1号

締切日　**令和3年3月25日**

テーマ　支部会便り／クラス会便り

字数　半頁(1,000字)～1頁(2,000字)前後
集合写真等を1枚お願いします。

送付先　小野高速印刷株式会社　同窓会支援事業部
〒670-0933　姫路市平野町62
TEL：079-281-8837　FAX：079-281-8839　E-mail：kobemed@ohp.co.jp
※上記アドレスまで送付ください。E-mailで送付いただく際は件名に**ニュースレター**とご記入くださいますと幸いです。

研究者だより　Vol.3

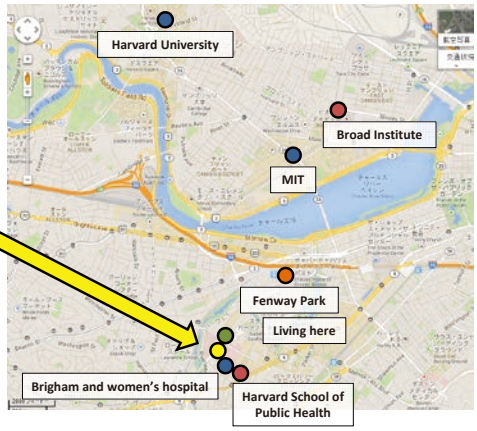
「私の消化器内科医としての研究体験から」

神戸大学大学院医学研究科　内科学講座消化器内科学分野　助教
増田　充弘（平成12年卒）

まずは、本原稿の依頼をいただきました神緑会会長の木戸良明先生をはじめ関係各位の皆様に御礼を申し上げます。自分自身の医師としての体験から研究にいたるプロセス、留学、そして、現在の近況についてお話していきたいと思います。

私は平成12年神戸大学の卒業です。神戸大学病院で研修後、本格的に消化器内科を目指したのは卒業から５年後でした。当時は内視鏡を使った検査、治療に非常に興味があり、とりあえず一日中内視鏡をしていれば幸せと感じていました。さらに技術を伸ばそうと考え、思い切って兵庫県から飛び出し、神戸大学の関連病院ではありませんでしたが、当時、関西では非常に消化器内科としては有名であった京都第一赤十字病院の門をたたきました。これが私にとっては初めての留学にあたります。私は当時、消化器内科の中でも胃や大腸と言った消化管に興味を持っていましたが、京都第一赤十字病院は胆膵領域を非常に得意としている病院で、その時の恩師である久津見弘先生（神戸大学特命教授を経て、現在は滋賀医科大学臨床研究開発センター教授）に出会ったのは、その後の私の医師人生を胆膵に捧げる大きなきっかけとなりました。それからも、がむしゃらに内視鏡検査の技術の向上を追い続けましたが、医師７年目になった時に神戸大学に戻ってきました。神戸大学に帰院後は吉田優先生に腸管免疫について丁寧に教わり、基礎研究で学位を取得しました。この時は実はかなり気持ちは胆膵に向いていましたので、大腸の研究という事であまり興味がわかず乗り気ではありませんでしたが、後に腫瘍免疫の研究をする際にここで学んだ免疫学の知識が自分にとって大いに役に立ちました。時に自分のやりたい事と少し違うようなことをしないといけない事も

Dana-Farber Cancer Institute



あると思いますが、何が役に立つかはその時はわかりません。どんな時でも何事にも一生懸命チャレンジすることが何よりも大切であると実感しております。

大学院卒業後は、研究から少し距離をとり、本来の専門領域である胆膵疾患の診療に力を入れました。大学院入学前は前述の通り、がむしゃらに内視鏡をしていれば幸せだったのですが、大学院修了後は同じ事の繰り返しのように感じて、何かもの足りない気がしていました。また、日常診療の中で当たり前と思っていた事（あるいは教わっていた事）が本当かなと疑えるように成長していました。これは大学院を通して、物事を論理的に分析、吟味する訓練ができていたからだと考えています。また、この時にも新しい出会いがありました。大阪医科大学から神戸大学に来られた有坂好史先生（現日本生命病院消化器内科部長）との出会いです。有坂先生は胆膵領域では非常に御高名な先生で、特に私が勉強になったのは病理所見をしっかり見るという視点です。病理所見を見ることでこれまで気がつかなかった多くの事に気がつけるようになりました。また、この時に病理にとても興味を持ったことが、その後の留学先に病理学教室を選ぶきっかけになりました。

留学に関しては、急にそのチャンスが訪れました。当時の教授であった東健先生から留学に行ってみるかと言われ、幸運な事に、神戸大学若手教員長期派遣制度を使用させていただきました。留学先に関しては色々と探しましたが、最終的には、家族の縁もあって、ボストンのハーバード大学の中にあるDana Farber Cancer Institutenの日本人PIをされていた荻野周史先生（現在はハーバード大学の病理学講座、公衆衛生学講座の教授になられています。）のラボでお世話になることになりました。荻野先生は、妻の親戚で、正月に一度お会いしたことがあり、その時に留学の事を一度相談しておりました。荻野先生の研究室は、病理学教室で、消化管の病理学（特に分子病理学[遺伝子変異など]）と疫学研究の手法を学びました。MPE（Molecular Pathological Epidemiology）は荻野先生が世界に先駆けて提唱されているもので、疫学研究に分子病理学的な要素を追加した学問体系です。留学で得た一番大きな事は、この研究室ではNEJMやJAMAといった一流雑誌に投稿するノウハウがあり、投稿にあたってどの程度のことが必要かという事を実感する事ができた事だと思います。京都第一赤十字病院は臨床では一流、Dana Farberは研究面では一流でやはり一流を知る事は大切だと実感しています。

最後に近況についてです。現在は、臨床検体とマウスを用いた基礎研究を大学院生とともに行っています。特に、膵臓癌を中心とした膵腫瘍に興味を持って研究を進めております。研究を進めるにあたり、何よりも大切な事は決して一人で進める事なく、周りの先生方にもご協力・ご指導いただく事だと考えています。その点で、現消化器内科教授の児玉裕三先生との出会いも非常に私にとって重要です。専門領域が同じという事もあり、非常に繊細に的確なアドバイスを日々いただいており、これまでできなかったような研究にもchallengeできております。また、膵臓という領域でお世話になる先生は、消化器内科のみならず、肝胆膵外科、放射線科、病理、糖尿病内分泌内科の先生と多数おられます。これらの先生と議論しながら進める事で一人では考えつかなったたくさんのideaが生まれてきます。これからも新しい事にチャレンジする精神と多くの人と協調する精神を持って研究を継続していきたいと思います。また、後輩の先生達にも研究の面白さを伝える事ができればと考えています。

神戸大学医学部医学科の歴史継承

神戸病院からの歴史の継承に向けて

神緑会顧問　**前田　　盛**（昭和46年卒）

令和元年９月１日に行われた150周年・75周年記念事業式典の準備中に昭和35年卒業の小田迪彦先生から、診察室の引き出しから昭和５年建設の病院本館の図面が出てきたので、皆さんに紹介するように依頼されました。医学科総務係に相談し、「歴史展示」として開催することにしました。その後、神緑会館内の展示物をバージョンアップしました。式典当日、参加者の感想で、「明治２年の西洋式病院といっても、内容はどんな病院だったのか？」と言われ、４枚の写真展示では不十分で、具体的な中身の提示が必要と気がつきました（Hiogo Newsで補充）。未だ解明されていないことの発掘も含めて若い皆さんに託そうと思い、平成23年卒、令和２年卒、５年生の３名と意見交換しましたが、広く皆さんの参加お願いします。

神戸病院の歴史、繋がりの理解に役立つように記す

1）医学部40周年記念事業の際に、隣接する楠寺住職より、境内の神田知二郎石碑の神戸大学敷地内へ異動の要請があった事が報告された。

2）京都大学図書館に保管さていた４枚の写真を故溝口史郎解剖学第二教授が取りに行かれ、昭和38年卒住野公衆衛生学教授に引きつがれた。50周年記念事業で神緑会館建設し、石碑を会館内に移設した。

3）移設に伴い、神田家関係者が神緑会を訪問され、「命日にお参りしていたこと、神田氏ゆかりの約200名の学籍簿、「ああ、神田先生！写真集、作：長澤　亘　神戸医学校卒」等、関係のものを譲り受けた。150周年記念式典に参加された。

4）寺島俊男前神経発生学教授の貢献：神戸大卒で無いが、「自分の在籍している大学の歴史を知りたい」として、積極的に現地・資料検索など実施された（京都の故神田知二郎墓地、初代病院長A.Bedder関連資料など）。定年退職時にご自分の研究内容以外に多くの歴史事項を含めて「街角の解剖学」として出版した。旧神戸病院跡地が雅叙園ホテルとなって、阪神･淡路大震災で損壊し、マンションになった場所を探し当て、東　康泰氏宅を訪問、残念ながらその翌年に東氏は頭部外傷で死亡された。多方面に渡る貢献でしたが、残念ながら定年退職で東京在住となってしまった。

5）建築家、山本ゆかり氏の参加：岡本地区の建築上の発展を調べている際に神戸病院について興味を持ち、従来と異なる建築家の視点での検索を進めていただいた。

6）建物の規模、明治２年：544坪（敷地１反２畝）、明治33年：現在地へ移転　建坪1,822坪、敷地面積6,806坪、寄附病棟：川崎寮・内田寮２階建て：各階280坪
昭和５年病院本館：鉄筋４階建て：１,045坪

150年のうちの35年前に明治２年建設神戸病院の実態が判明しました。明治31年発行の神戸開港30年史に明記され、それなりの理解のあった建物が謎のままに時間が経過したが、「死んだ人の年を数える」や「これは試験に出ません」に相当する何かが影響した

かもしれません。この経過を悔しい思いがすると反応する人はほぼいないのですが、将来に引き継がれ、伝統の一部に定着することを希望します。

神戸大学発行記念誌

1．県立医科大学史　昭和39年発行
2．50周年記念誌　平成６年発行
3．75周年・150周年記念誌、印刷中
4．神戸大学100年史　前身校史、通史、部局史

神緑会保管書籍

1．神戸開港三十年史　神戸市開港30年記念会　明治31年10月20日発行
2．佐野病院　百年の歩み　佐野　馨　昭和63年９月　自費出版
3．須磨浦病院創立100年　平成元年11月３日　鶴崎範太郎、鶴崎隆一　自費出版
4．母校誕生のころ－本学の神話時代―26年卒　故中村　和成　自費出版
5．ドイツ医学の受容と普及－東京大学医学部外史　2010年、吉良枝郎　築地書館
6．近代日本高等教育体制の黎明―交錯する地域と国とキリスト教界、2012年、田中智子　思文閣出版
　神戸、飾磨県（姫路県）の医療とベリーの関わりに詳しい、次いでベリーは岡山へ
7．近代医療のあけぼの一幕末・明治の医事制度　青柳精一、思文閣出版2011年
　その他、多数
　神緑会館事務局で自由に借り出しできます

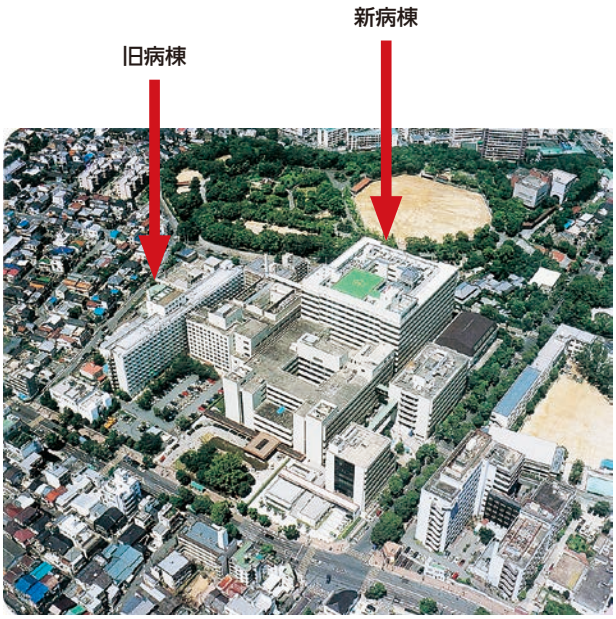
神戸大学附属図書館大学文書資料室保管リスト

（六甲ホール地下１階）

1~245　医学部教育関連資料

243、244：50年 誌　256~261：ICMR,263:50年誌式典、303~304：藤田英夫氏著書、神戸史談ベッダーと神戸、309~317：池田宇之助講義筆記録、318：病院本館建築概要、319：医学専門学校、学生募集、321：神戸医学校学籍簿、約200名分、322：神田学校長50年忌　324：長澤　亙　古希写真集

昭和 16 年、奥の建物、病院本館裏の広場（患者遊歩道）で行われた看護部の朝の体操



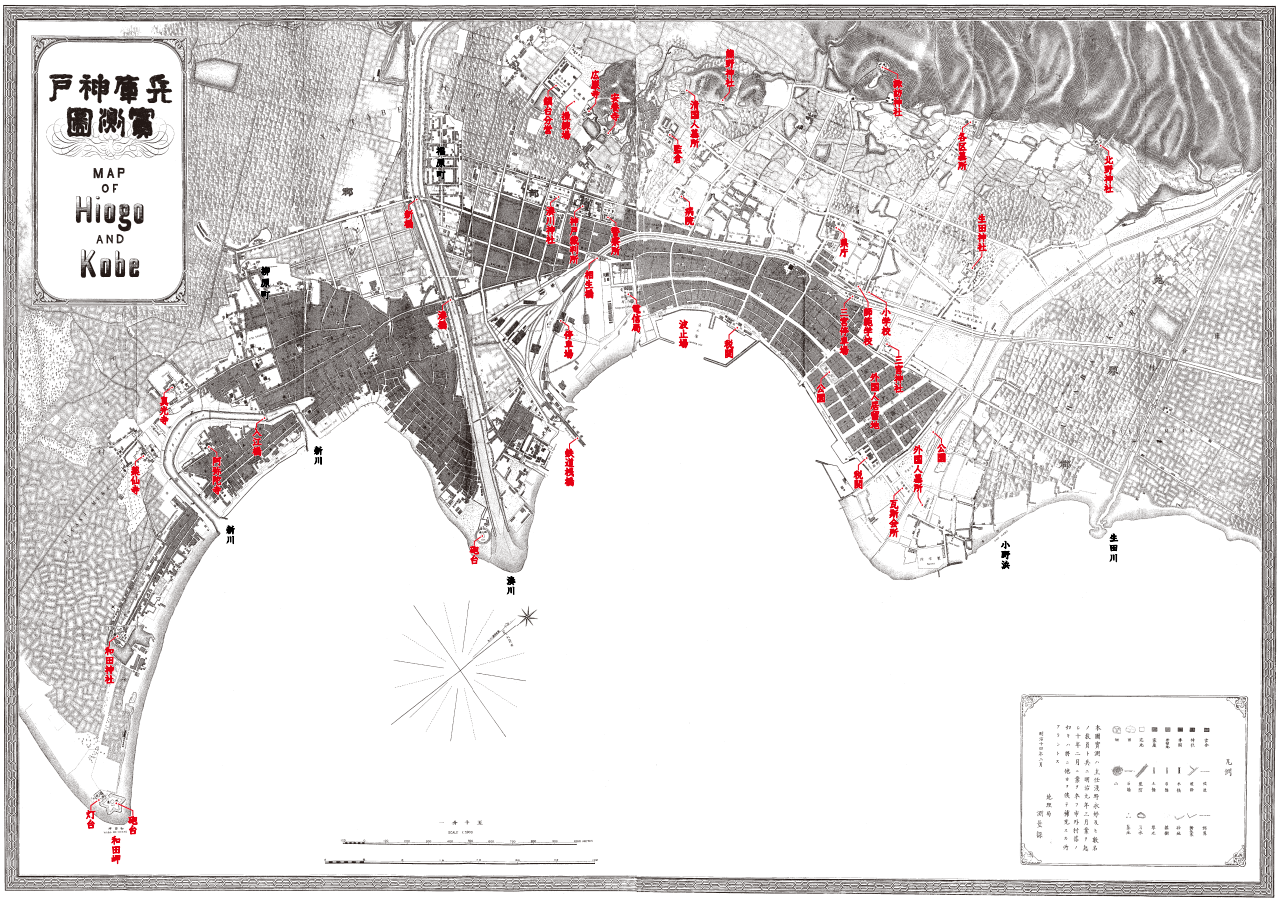
新旧第一病棟の航空写真（旧病棟が残ったタイミングでの写真）

・道路に沿って建つ細長い９階建て　旧病棟、２階の第４、５講堂が５、６年生の教室、現在の低侵襲棟の場所
・新病棟、四角で屋上に緑色のヘリポート装備

神戸市文書館提供（神戸市中央区熊内町１－８-21）

戸神庫兵　Hiogo Map　明治10年頃の神戸市中心部の地図、神戸病院の概略が分かる

同館内では、新聞や多くの資料が調べられます。



坂上　明 先生への学長、学部長からの感謝状の贈呈

９月22日に木戸会長、藤澤医学部長、研究支援課長とともに、感謝状を渡しに大阪を訪れた。コロナは大阪ではまだまだでしたが、１億５千万円の謝意を伝えに、藤澤医学部長が決断されました。ニュースレター第12巻第２号36ページと同様ですが、コロナ問題の発生により教育環境の整備が求められる中で貴重な財源となります。

神緑会顧問　前田　盛

CiRA便り

京都大学iPS細胞研究所　基金事務局　**砂留沙季子**

神緑会の皆様、平素は iPS 細胞研究所（CiRA）にご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
今号では、研究の倫理的課題に対する CiRA 研究者の取り組みを紹介いたします。

試験管内で培養されるヒト多能性幹細胞由来の胚様構造体を用いた研究の倫理的課題について考察

近年、ヒト胚を体外で培養する技術や、ヒト多能性幹細胞を用いて胚の発生過程を模倣する技術が飛躍的に進展しています。前者に関しては、現在、ヒト胚を用いた研究を倫理的に進めるうえで各国が遵守している国際的な規則「14日ルール※」があり、研究者はヒト胚の体外培養を精子・卵子の受精後13日で意図的に中止しています。ただ、2019年には人に近いサルの胚を受精後20日まで培養したと報告されており、人でも受精後14日を越えて胚を培養することが技術的に可能です。これらの研究が進展すれば、これまで十分には明らかになってこなかった胚の発生メカニズムを理解したり、将来的には不妊症の解明や臓器移植などの臨床目的で利用したりできるとして期待されています。

かつてES細胞研究においては、人へと成長する潜在性を持つ胚を破壊して、ES細胞を作製することの倫理的是非が争点になりました。同様に、もし胚様構造体が人へと成長する潜在性を獲得する可能性がある場合、胚様構造体を作製してよいのか、また胚様構造体の種類に応じて、どの段階までであれば発生を進めてよいかという問題が生じます。特に、14日ルールを胚様構造体の研究にどのように適用すればよいかという問題は極めて緊急性の高い課題です。

澤井努特定助教（京都大学CiRA上廣倫理研究部門・特定助教、皆川朋皓研究員（京都大学CiRA増殖分化機構研究部門）らは、人へと成長する「潜在性」の考え方に着目することで、どのような種類の胚様構造体を倫理的に配慮し、14日ルールを適用すべきなのかを考察しました。胚は一般的に、受精してから発生を進める過程で、胎児、人へと成長する部分と、胎盤になる部分に分かれます。現在の技術レベルでは難しいですが、≪それを可能にする≫技術と≪それをしたいという≫意図さえあれば、将来的に胎児、人へと成長する部分を適切な環境下で発生させることが可能になります。その意味で、胚様構造体を用いた研究をどの程度認めてよいかは、胎児、人へと成長する部分を含むかどうかに依存すると言えます。この理解を前提に、現在、14日ルールの下、通常の胚を原始線条の形成以降、発生させてはならないように、胚様構造体も胎児、人へと成長する部分を含む場合には、原始線条の形成以降、発生させるべきではないと論じました。一方、胚様構造体でも胎児、人へと成長する部分を含まない場合、体細胞を用いた研究などと同じように行ってもよいと指摘しました。

近年は、ヒト胚を体外で培養する技術が向上していることもあり、14日ルールの妥当性を問い直す動きも見られます。この課題については、今後、生命倫理学者や科学者だけでなく、広く社会で検討していく必要があると考えています。

※14日ルール
受精後14日、または原始線条の形成以降、ヒト胚を発生させることを禁じるルールのこと。受精後14日未満の胚は、人への発生過程にはあるものの、一卵性双生児になる可能性を有する、または臓器分化が始まるという科学的知見を根拠に、この時点では一つの個体としての「人格性」「個別性」を持たないという見解がある。

オンラインでの高校生向けのシンポジウムを開催

新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続いていますが、CiRAではJT生命誌研究館との共催で、高校生向けのシンポジウム「生命誌から生命科学の明日を拓く」をオンラインで開催しました。「iPS細胞 進捗と今後の展望」と題した山中伸弥所長の講演では、前半に世界的に流行している新型コロナウイルスについて今わかっていること、注意するべきことをお話しし、後半は、iPS細胞を発見するに至った研究の流れや、iPS細胞を使った医学応用を目指した研究の現在の状況を紹介しました。山中所長はこれからの科学の未来を担う存在である高校生たちに向けて、急速に進化する科学にもまだまだ解決出来ていない課題があるのでぜひ挑戦してほしいとメッセージを送りました。

研究活動は世代を超えて続いていきます。CiRAがいま取り組んでいるiPS細胞研究が次世代の研究者たちに受け継がれ発展していけるよう、息の長いご支援をよろしくお願い申し上げます。

iPS 細胞研究基金についてのお問い合わせ先

■ iPS 細胞研究所　iPS 細胞研究基金事務局

〒 606-8507　京都市左京区聖護院川原町 53
TEL：075-366-7152　FAX：075-366-7034
メール：ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp
資料請求専用フリーダイヤル：0120-80-8748（平日８時半～ 17 時）

■ 京都大学基金ウェブサイト

「京都大学基金」で検索してください。URL は以下の通りです。
http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/

編集後記

今年度、最後のニュースレターの発刊に至ることができました。大倉山祭やホームカミングデイなどさまざまなイベントが中止になっておりますので、紙面作りもどうなることかと思っておりましたが、多くの神緑会員の先生方の御協力により、通常と分量の変わらないニュースレターを発刊することができました。今年は、ホームカミングデイの学部企画の中で行っておりました神緑会美術展を誌面で行うことにして公募しましたところ、多くの先生から力作を送っていただきました。紙上ではありますが、ゆっくりとお楽しみいただけるかと思います。また、新入生から各世代の声をお届けすることにも腐心しており、なんとか全ての世代の先生方の記事を掲載できたかと思っております。今年こそは、神緑会の先生方や学生さんの活動が通常に戻り、皆さんの活躍や交流をお届けできることを祈っております。令和３年度のニュースレターでは、藤澤正人新学長に関する記事を掲載したいと思っております。ご期待ください。今年も神緑会をよろしくお願いいたします。

（広報委員会）

神緑会
ニュースレター
第12巻第３号

発行
一般社団法人神緑会　会長　木戸　良明
〒650-0017
神戸市中央区楠町7丁目5-1 神戸大学医学部内
TEL 078-361-0616　FAX 078-361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

印刷
小野高速印刷株式会社
〒670-0933　姫路市平野町62番地
TEL 079-281-0008　FAX 079-223-3523
URL:https://www.ohp.co.jp/
http://www.dousou.info/

PROUD
プラウド西宮北口
新発表

予告広告
本広告を行い取引を開始するまでは、契約又は予約の申込みに一切応じられません。また申込順位の確保に関する措置も講じられません。（販売予定時期／2021年3月上旬予定）

西北謳歌

Melodious Days

西宮北口で、輝く人生を。

外観完成予想図

「阪急西宮ガーデンズ」徒歩5分の住宅地に、専有面積72.27㎡～120.07㎡のゆとりあるレジデンス、誕生。

「プラウド西宮北口」物件エントリー受付開始

阪急神戸線・今津線〈特急停車駅〉「西宮北口」駅 徒歩 8分（約620m）

「阪急西宮ガーデンズ」徒歩 5分（約340m）

開放性とプライバシー性に配慮した邸宅創造
《第二種中高層住居専用地域・三方接道角地・全邸南向き》

プラウド西宮北口　検索

https://www.proud-web.jp/mansion/w131250/

■お問い合わせは「プラウド西宮北口」プロジェクト準備室

0120-238-028

□営業時間／［平日］10:00～17:00［土・日・祝］10:00～18:00
□定休日／毎週水・木曜日、毎月第2火曜日（祝日を除く）

事業主（売主）

あしたを、つなぐ ── 野村不動産グループ
野村不動産

プラウド西宮北口物件概要●所在地／兵庫県西宮市田代町10番1（地番）●交通／阪急電鉄　阪急神戸線・今津線「西宮北口」駅徒歩8分●敷地面積／1,241.61㎡(確認申請面積)●用途地域／第二種中高層住居専用地域●建築確認番号／第BCJ20大建確031（令和2年9月14日付）●構造・規模／鉄筋コンクリート造　地上6階建●総戸数／28戸●販売戸数／未定●間取り／3LDK●専有面積／72.27㎡～120.07㎡●バルコニー面積／6.69㎡～17.68㎡●ルーフバルコニー面積／19.59㎡●テラス面積／12.20㎡～21.76㎡●竣工予定時期／2021年12月下旬●入居予定時期／2022年1月下旬●販売予定価格（税込）／未定●管理形態／区分所有者全員で管理組合を結成後、運営・管理業務は野村不動産パートナーズ株式会社に委託予定●販売予定時期／2021年3月上旬●分譲後の敷地の権利形態／専有面積割合による所有権の共有●事業主（売主）／野村不動産株式会社　西日本支社[国土交通大臣免許（13）第1370号・（一社）不動産協会会員・（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟]〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目4番4号（野村不動産四ツ橋ビル15階）フリーダイヤル:0120-06-6552●施工／野村建設工業株式会社※記載の専有面積等は未分譲の全戸に対してのものです。※販売戸数等の未確定部分につきましては、本広告時で表示いたします。※掲載の外観完成予想図は、現地から約10m離れた地点の4階相当の高さからを撮影（2020年9月撮影）した眺望写真に、計画段階の図面を基に描いた完成予想CGを合成したもので、実際の見え方とは異なります。なお、設備機器等は一部省略または簡略化しております。タイルや各種部材におきましては、実際と質感・色等の見え方が異なる場合があります。なお、周辺の環境は変わる可能性があり、眺望は将来に渡って保証されるものではありません。

周辺街並み(徒歩1分／約80m)

新しい
暮らしの価値を、
住吉山手から。

外観完成予想図

阪急神戸線「御影」駅徒歩5分(約380m) | JR神戸線「住吉」駅徒歩15分(約1,200m) | 第一種低層住居専用地域 ※用途地域・周辺環境は将来変わる場合があります。

モデルハウス家具付分譲

モデルハウス公開中 <予約制>

資料請求・お問い合わせは
0120-010-889 プラウド御影 検索

営業時間／[平日]10:00～17:00 [土・日・祝]10:00～18:00 定休日／水・木曜日、第2火曜日(祝日の場合は営業致します)

QRコードで携帯電話・スマートフォンからも物件エントリーできます。

■「プラウドシーズン御影住吉山手」先着順概要●所在地／兵庫県神戸市東灘区住吉山手二丁目1725-7他(地番)●交通／阪急電鉄阪急神戸線「御影」駅徒歩5分、JR東海道本線(神戸線)「住吉」駅徒歩15分、阪神電鉄阪神本線「御影」駅徒歩20分●用途地域／第一種低層住居専用地域●建築確認番号／第KS119-6110-01572号(2019年9月13日付)他●敷地面積／110.01㎡～138.47㎡●建物延床面積／102.03㎡～122.13㎡●構造・規模／木造2階建(2×4)●総戸数／10戸●販売戸数／2戸●間取り／3LDK●完成時期／2020年3月完成済●引渡予定時期／即入居可●販売予定価格／99,680,000円～119,980,000円●道路／約4.5m、約5m●私道負担／あり、216.97㎡(STAGE1～10の10区画で共有)●施設・設備／大阪ガス株式会社、関西電力株式会社、公共上下水道●施工／株式会社昭和工務店●広告制作年月日／2021年12月14日●広告有効期限／2021年2月28日※表示の販売価格等には消費税等の税率10%相当額を含んでおります。※先着順受付中につき、売却済みの場合はご容赦ください。※引渡時期につきましては、諸手続完了後の入居となります。※STAGE6モデルハウスは以下の家具・家電を付けて販売いたします。2020年11月28日よりモデルハウスで使用している《リビング》ソファ、《ダイニング》テーブル、椅子4脚セット、シャンデリア照明。レースカーテン※付属する家具・家電はアフターサービスの対象外となります。

※掲載の周辺街並み写真は、2019年12月撮影したものです。また、一部CG処理を施しております。

外観完成予想図

上甲東園

甲東園の源流を継ぐ、新邸宅街区。

阪急「甲東園」駅より
「大阪梅田」駅へ4駅※1

阪急今津線
「甲東園」駅 徒歩6分(約480m)

西宮市唯一の文教地区※2

第1種低層住居専用地域

新邸宅街区<全23区画>

モデルハウス公開中 <予約制>

資料請求・お問い合わせは
0120-557-023 プラウドシーズン上甲東園 検索

営業時間／[平日]10:00～17:00 [土・日・祝]10:00～18:00 定休日／水・木曜日、第2火曜日(祝日の場合は営業致します)

QRコードで携帯電話・スマートフォンからも物件エントリーできます。

■「プラウドシーズン上甲東園一丁目」予告物件概要●販売予定時期／2021年1月中旬●所在地／兵庫県西宮市上甲東園1丁目128番(地番)●交通／阪急今津線「甲東園」駅徒歩6分※上甲東園石畳階段を通るルートにて計測●用途地域／第一種低層住居専用地域●建築確認番号／第KKK01905684号(2020年2月25日付)他●敷地面積／150.15㎡～162.54㎡●建物延床面積／100.19㎡～126.82㎡●構造・規模／木造2階建(2×4)●総戸数／23戸●販売戸数／未定●間取り／3LDK～4LDK●完成時期／3戸・2020年8月初旬、13戸・2020年10月初旬、7戸・2020年12月下旬予定●引渡予定時期／2021年2月下旬、2021年3月中旬、2021年5月下旬●販売予定価格／未定●総開発面積／3,941.53㎡●道路／東:約5.17m、西:約7.97～8.06m、南:約5.17m/北:約7.92～8.01m●私道負担／なし●施設・設備／大阪ガス、関西電力、公共上下水道●設計・施工／建築:株式会社昭和工務店、外構:株式会社石勝エクステリア●地目／宅地●地域・地区／日影規制4h/2.5h(H=1.5m)、最低敷地150㎡、文教地区、第3種風致地区●建ぺい率／40%●容積率／100%※本物件は一括して販売するか、分割して販売するか未定です。

予告広告

本広告を行い取引を開始するまでは、契約又は予約の申込みに一切応じられません。また、申込順位の確保に関する措置も講じられません。販売予定時期は2021年1月中旬です。

※1:阪急神戸線「西宮北口」駅にて特急に乗換 ※2:西宮市の特別用途地区「文教地区」に定められたエリアは本件を含む「上ケ原文教地区」のみとなります。(「にしのみやWebGIS西宮市地理情報システム」より／2020年6月1日現在)

※掲載の完成予想図は計画段階の図面を基に描いたもので実際とは異なります。また、今後変更になる場合があります。なお、外観の細部・設備機器・配管類及び電柱・架線・道路標識・周辺建物等は一部省略または簡略化しております。植栽につきましては特定の季節の状況を表現したものではなく、竣工時には完成予想図程度には成長しておりません。タイルや各種部材につきましては、実物と質感・色等の見え方が異なる場合があります。※電車所要時間は、通勤時(7:00～9:30)、平日中時(9:31～16:30)に目的駅へ到着する電車の内、2本以上ある最速の所要時間を表示しております。時間帯等により所要時間は異なります。また、乗り換え・待ち時間は含まれておりません。※徒歩分数表示については地図上の概測距離を、80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。予めご了承ください。

売主 ／ 野村不動産株式会社/国土交通大臣(13)第1370号
(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、西日本支社:大阪府大阪市西区阿波座1丁目4番4号

あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ
野村不動産

夙川
St Terrace
秀麗の丘
宅地分譲

「夙川」の
気品と格調を継ぐ
邸宅街が誕生。

土地面積
90坪
超

※現地周辺の空撮写真
（2016年9月撮影）に、CG加工を施したものです。

for 72 families

阪急神戸線
「夙川」駅 徒歩11分

JR神戸線
「さくら夙川」駅へ徒歩19分
阪急神戸線「夙川」駅より
「大阪梅田」駅へ16分（特急利用）「神戸三宮」駅へ11分（特急利用）

■全体概要●物件名称／夙川StTerrace秀麗の丘●所在地／兵庫県西宮市高塚町27番26他（地番）●交通／阪急神戸線「夙川」駅下車徒歩11分●総区画数／72区画●用途地域／市街化区域第一種低層住居専用地域●高度地区・風致地区／第1種高度地区・東六甲山地区（第3種）風致地区●地目／宅地●建ペイ率／40%●容積率／100%●道路幅員／開発区域内約9m、約6m・開発区域外主要道路約15m●私道負担／無し●開発許可検査済証番号／第開-2-2-3号（29）（2019年11月26日）●開発面積／40311.69㎡●造成完了時期／2019年11月26日完了済●土地面積／分譲住宅用地19982.38㎡、集合住宅用地10489.98㎡●設備概要／電気、都市ガス、公営水道、公共下水道●諸費用／登記費用、水道分担金口径20mm（1区画あたり）128,925円（税込）■第2期先着順概要●販売区画数／7区画●販売価格／104,282,000円～130,169,000円●販売土地面積／299.79㎡～338.21㎡●お引渡し時期／相談※諸手続終了後●売主／ヤマイチエステート株式会社＜国土交通大臣（2）第8520号、（公社）和歌山県宅地建物取引業協会会員、（公社）近畿地区不動産公正取引協議会加盟＞〒640-8392和歌山県和歌山市中之島1518番地中之島801ビル5階TEL:073-436-1010●販売提携（代理）／ユニハイムエステート株式会社＜国土交通大臣（8）第4043号、（一社）不動産協会、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟＞〒541-0048大阪府大阪市中央区瓦町2丁目4番7号新瓦町ビル1階TEL:06-6204-0123※当該物件は、一般分譲に先駆けて会員優先分譲いたしておりますので、予めご了承ください。※当物件は建築協定及び緑地協定がございます。詳しくは係員にお尋ねください。※先着順申込につき、ご希望の区画が売約済みの場合もございます。予めご了承ください。※先着順申込受付場所／「夙川StTerrace秀麗の丘」販売センター※申込時にご持参いただくもの／印鑑（認印）、本人確認書類（運転免許証、パスポート等）直近2年分の源泉徴収票又は確定申告書の写し等の収入証明書をご持参ください。（詳しくは係員にお問い合わせください。）●取引条件有効期限／2021年3月31日※掲載の物件概要は2021年1月13日現在のものです。最新の情報はホームページ等でご確認ください。※徒歩分数は80mを1分として計算（端数切り上げ）した概測時間です。※所要時間はすべて平日日中の所要時間です。上記電車乗車時間は2020年9月調べのものです。乗車する時間帯や日にちにより、異なる場合がございますので予めご了承ください。

【現地販売センター】兵庫県西宮市高塚町27番31
カーナビをご利用の方は NAVI 西宮市高塚町7とご入力ください。

予約制 現地案内会開催
営業時間：午前10時～午後6時（火曜日・水曜日 定休日）
フリーダイヤル 0120-677-801

資料請求は
こちらから

事業主（売主） ヤマイチ エステート 株式会社
販売代理 ヤマイチグループ
ユニハイムエステート（株）

夙川セントテラス 検索